

# 商学部報

## INDEX

- 卷頭言 01
- 学部 News 02
- GMP に参加しませんか 03

## 特集 ●●●●●●

## 専門ゼミ紹介 05



- 懸賞論文 21
- 学術情報検索 29
- 秋学期寄附講座 30
- 海外留学 32
- 学生生活・進路 34
- 学部・修士5年一貫修了制度 36
- 進学 38



## 商学部で法律を学ぶ意義とゼミの効用



商学部学生担当教務副主任  
**新井 剛**

私は早稲田大学商学部で、「民法」を専門とする唯一の教員である。これまでに「ビジネス法入門Ⅰ～Ⅳ」や「民法Ⅰ～Ⅲ」、「民法研究ⅠA～ⅡB」の教育等を担当してきた。この内「ビジネス法入門」に関しては、2021年度の秋学期に「同時再生問題」が発生し、一時マスコミを賑わせた(先生方には、ご心配とご迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っている)。同科目では単位認定の前提として、全ての動画を期限内に『視聴』することを受講者に求めていた。しかし、パソコン上でいくつもタブを立ち上げ、同時に再生する等の学生が続出した。そのため、単位認定の前提を欠くとし

て、彼らをFにしようとした。これに対して、「このような方法ではダメだなどと予め周知していない」等の批判をする者もいた。けれども、我々が求めていたのは『視聴』である。注意深く動画を視聴、解説を聴いて、各回の内容を理解し、一生役に立つ学びを得てもらいたかったのである。上記のような方法で、それは可能であろうか。

ところで、「ビジネス法入門」のシラバス(一部抜粋)では、次のように述べている。「利益の獲得だけを第一に考え、そのためにルールを無視してビジネスを行うことは、企業としての信用失墜、破綻、損害賠償責任の負担、刑事責任の発生等、重大な影響を招来することにつながる。それだけに、商学部生としてこれからビジネスその他の分野について専門的に学んでいくにあたり、共通基盤となる基礎知識として、企業取引や企業運営に関する法的ルールのエッセンスを学び、その内容を理解しておく必要がある。」

この点に関連しては、少し前に中古車販売業者が、街路樹を除草剤で枯らす、故意に車に傷をつけて修理代を水増しし、大手損保各社に保険金を不正請求する等、数々の不正行為を続けていたことが暴露され、旧経営陣が退陣を余儀なくされたことが思い起こされる。同社の元副社長は、実は早稲田大学商学部の卒業生である。しかし、彼の学生時代には、未だ「ビジネス法入門」は商学部において必修科目になっていなかった。もし、必修科目になっていたら、同様のことが起こったのであろうか。また私はその立場上、商学部生に対して懲戒処分等を言い渡すことがあるが、彼らの内のかかなりの割合で、

「ビジネス法入門」の単位を修得できていない者がいるという事実は、何を物語るのであろうか。

さて前述の2021年度秋学期に、「ビジネス法入門」でFになった学生には、これを機に反省をし、コンプライアンス(法令遵守)の重要性を理解してほしいと説いた。同時再生問題が、上記を趣旨とする「ビジネス法入門」で起こったことは、大変意義深い。学生の皆さんには、社会人になる前に、一生役に立つ「学び」を得てもらえたと我々は考えていた(なお、「この科目の単位を落としたので、卒業できない学生も出た」という情報が流されたが、全くのデマである。SNSやネット上の情報との付き合い方を改めて考えさせられるエピソードである)。そして、今回Fになったとしても、心機一転頑張ってくれば構わないと思っていた。実際、私のゼミには、2021年度秋学期に「ビジネス法入門」でFになった学生が数名いる。彼らがいま、新井ゼミで生き生きと学んでいる姿を見ると、本当にうれしく思う。

早稲田大学商学部には、50近くのゼミが用意されている。大学教育の花形は、ゼミである。少人数の濃密な教育・指導を受けて、学生の皆さんは専門性を高めてほしい。またゼミでは、仲間たちや先生との人間的な深い交流も期待できる。講義では見せない顔を、ゼミでは見せてくれる先生もいるであろう。皆さんがゼミで多くのことを学び、社会で大活躍するための確固たる基盤を形成して、早稲田大学商学部を卒業してくれることを心より願っている。

## 「全国学生保険学ゼミナール」にて中出ゼミの学生がダブル受賞しました

2023年12月3日(金)「全国学生保険学ゼミナール(Risk and Insurance Seminar)」にて、中出哲教授のゼミナール3年生・4年生が、保険実務家を選ぶ「MNP(Most Notable Presentation)」と「出席学生全員が選ぶMIP(Most Impressive Presentation)」をダブル受賞しました。

中出ゼミは、少子化対策やダイバーシティなどの社会課題に対する方策として、「従業員子育て保険」という仕組みを考案して提案しました。これは、民間と政府が協力した新たな保険制度の枠組みを創設する提案で、政府の財政支出や国民の社会保険料負担をあまり増やさずに、民間企業が経費として保険料を負担して、従業員や家族の出産による労働力不足に対して、代替労働力やベビーシッターの派遣という現物給付を受け、出産や女性の活躍を支える制度です。政府と保険会社が制度の運営に携わることによって、質の高い「ベビーシッター」産業を育成することも目指します。この提案は、出産という人生の最初からかわる制度で、介護保険とパラレルになるものです。新たな官民連携(public private partnership: PPP)の仕組みで、この提案は、世界的にみてもオリジナリティの高い独創的なものです。

その後、「学生新商品アイデアコンテスト」においても、実務専門家の審査で第1位となり、今年秋に韓国で開催される新商品コンテストに日本代表として参加することになりました。



中出教授と発表したゼミ生

## News 1

## 第24回日経STOCKリーグにて奥村ゼミの学生が部門優秀賞(大学)を受賞しました

中・高・大学生を対象にした金融・経済学習コンテストである日経STOCKリーグにおいて、奥村ゼミの3年生4名からなるチーム(大石彩乃、鈴木脩太、田口輝、内藤彩)が大学・専門学校部門の全参加667チーム(大学647チーム、専門学校20チーム)中、トップの部門優秀賞を受賞しました。早稲田大学からの出場チームとして初の受賞です。

日本経済新聞社主催(野村ホールディング協賛)のコンテストで、各参加チームが特定の投資テーマを実現するための株式ポートフォリオを提案するレポートを作成し、その内容を競います。受賞したレポートは、社会的課題である食品ロスへの取り組みと企業価値向上の好循環を促進するためのポートフォリオ投資を提案しています。財務情報、株価情報、その他の多様な情報を分析し、さらに官公庁や企業の関連部署へのインタビューを重ねることによって説得力のあるレポートを完成させています。実際の入賞レポートと審査員による講評は以下のリンクをご覧ください。

man@bowまなぼう 日経STOCKリーグ(外部リンク)

<https://manabow.com/sl/result/24/index.html>



左から田口輝さん、鈴木脩太さん、大石彩乃さん

## News 2

## Dean's List制度の表彰を行いました

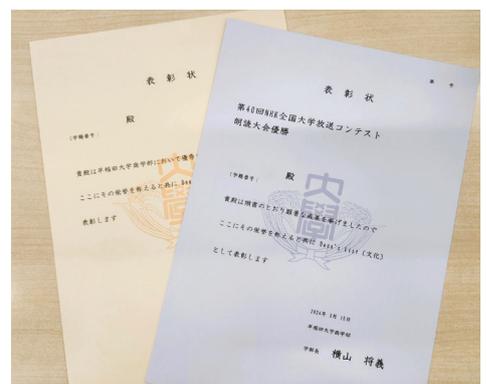
2023年度より、商学部ではDean's List制度を導入しました。この制度は、学業・スポーツ・文化芸術活動等で優れた成果を残した商学部生を対象に、日々の努力とその成果を表彰し、諸活動に対する更なる意欲向上を目的とするものです。

Dean's List[学業]は、学業成績(GPA)に基づき、各学年30名程度を選出します。

Dean's List[スポーツ]および[文化]は、スポーツ活動や文化芸術活動等において、個人や団体の構成員として残した顕著な成果に基づき選考します。選考基準は、全国大会・コンテスト等では入賞以上、国際大会・コンテスト等では出場以上を目安とします。

2024年3月は、Dean's List [学業]102名、[スポーツ]3名、[文化]4名の受賞者に表彰状を授与し、輝かしい成果を称えました。

皆さん、ぜひDean's Listの表彰を目指して、学業・スポーツ・文化芸術活動等に勤しみ、商学部で充実した学生生活を過ごしてください。



## News 3

# Global Management Program (GMP) に参加しませんか



Global Management Program(GMP)は、商学部の学生を「グローバル・ビジネス・リーダー」に育てるプログラムです。

今の時代は、地球/世界レベルはもちろん、国内においてもグローバルな知識・経験・能力を持ったリーダーが求められています。地球上のどこにいても、力強く、堂々と、しなやかに生きていく、そして自分の周りの世の中に貢献していく、GMPはそんなリーダーを育てたいと考えています。

現在、商学部の3・4年生の100名以上がGMPに参加して自らを成長させています。

## GMPの内容は?

GMPでは、学生たちの資質・能力を高めるため、次のようなプログラムの内容を用意しています。

### 1 GMPゼミ

GMPゼミは、まさにGMPの学習の中心です。GMPゼミには、経営、国際ビジネス、会計、ファイナンス、保険、経済史・経営史、公共政策のゼミがあります。それぞれのゼミでは、国際経験が豊富な教員のアドバイスを受けて、ビジネス・社会における課題の発見と問題の解決に取り組みます。そして学生は、このゼミでの学習を通じて、思考力、分析力、情報収集能力、世界に通用するプレゼンテーション力・ディスカッション力・ライティング力を高めることができます。さらにはGMPゼミというコミュニティにおいて、グローバルな人間力・リーダーシップ力を身に付けることとなります。



GMPゼミでのプレゼンテーションとディスカッションの様子

### 2 GMPコア科目、英語教育

商学部の授業の多くは日本語で行われていますが、GMPでは英語で行われるビジネスの授業(GMPコア科目)を5科目以上履修します。その際には、皆さんが1,2年生の英語の授業で学習したことが大いに役立つことになります。GMPコア科目を履修すると、世界のビジネス・経済・社会・文化に関する知識が英語で頭に入るので、皆さんが卒業後、日本語だけではなく英語でも人と話ができる、ビジネスを行える、ということにつながります。

## GMP学生の声

■ 広田ゼミ  
元田 就士



GMPに所属していることで、国内にいながらもグローバルな経験をする機会がとて増えました。まず、GMPコア科目の授業は、ディスカッションを通じて自分の意見を英語で述べる場面が多く、知識のアウトプットを行う機会に恵まれています。さらにGMPフォーラムでは、他のGMPゼミの学生と共同で、自分のゼミでは学べない内容に英語で取り組むので、学習や交友関係を広げる場となっています。これらに加えて、課外活動では海外からの留学生と交流する機会も多くあります。

このようなGMPならではの環境を活用することで、自身をよりグローバルな人材に成長させられますし、私も成長を実感しています。

### 3 GMP Learning Opportunities

GMPには、皆さんを成長させる様々な学習機会(Learning Opportunities)があります。それらはいずれも、単に知的能力を高めるだけでなく、皆さんのグローバルな人間力、リーダーシップ力を高める場となります。

#### 1 GMPフォーラム

毎月1回、最終週のGMPゼミは、全GMPゼミが一堂に会して合同で行います。これがGMPフォーラムです。ここでは、ゼミと学年を越えて、他のGMPゼミの学生・一つ先輩(後輩)の学生と共に学ぶことができます。ゲスト(企業等)の講師に出されたビジネス課題の解決方法をグループでディスカッションすることもあります。これまでゲストとして、Wall Street Journal, EY Japan, 三菱商事等に来ていただきました。また、学生自らが設定した課題をプレゼンテーションすることもあります。右の写真は、GMPのコンセプト、製造過程のサステナビリティ、予算等を考慮して、グループごとにGMPのTシャツを考案・企画するというGMP T-Shirts Competition を行った時の様子です。



ゼミを越えて：GMPフォーラム「T-Shirts Competition」の優勝チーム

#### 2 学生研究成果発表会

GMPの一大イベントです。GMPの学生が1年間の研究成果を発表する場です。各ゼミの代表が、オーラル・プレゼンテーションとポスター・プレゼンテーションで研究の成果を発表します。ゲストの方にもお越しいただき、社会人の眼から各研究成果への評価・コメントをいただきます。2023年度は、オーラルプレゼンテーション・ポスタープレゼンテーションで6つの研究が見事に賞を受賞しました。



オーラル・プレゼンテーション



ポスター・プレゼンテーション

#### 3 GMPキャリアフォーラム

GMPの学生が将来のキャリアを考える機会として、春学期に行われます。商学部のOB/OG約10名にお越しいただき、それぞれのキャリアをお話しいただいた後、OB/OGと学生でグループディスカッションを行います。様々な国・業種・職種で大活躍されているOB/OGから親身になったキャリア・アドバイスが受けられます。

**[GMP キャリアフォーラムにお越しいただいたOB/OGの勤務先(例)]** 三井物産、伊藤忠商事、マイクロソフト、日本IBM、PWC、アクセンチュア、JR東日本、電通、三井住友銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、野村アセットマネジメント、スイス・リー



コンサル勤務のOBを囲んで

#### 4 海外での学習

GMPの学びは、早稲田キャンパスだけにとどまりません。グローバルな知識・経験・能力を高めるために、GMPの学生は海外で世界の学生と共に学びます。まず、海外合宿です。2023年度は9月に香港で海外合宿を行い、香港科技大学(HKUST)の学生と共同ワークショップを行いました。また、現地ではグローバル企業4社を訪問し、世界のビジネスの最前線を体感しました。

さらに、GMPは世界の大学生によるケーススタディーのコンペティションHKUST International Case Competition (HKICC)にも参加しています。HKICCは、毎年世界のトップ大学10-15校の学生が現実の企業が直面する問題への解決策を考案しプレゼンテーションするものです。HKICCに参加するGMPの4名の学生は、まさに世界大会の場で、知力とコミュニケーション力を駆使して、他国の学生としての力を磨くこととなります。このHKICCへの参加は、自らの能力を世界レベルに高めるばかりか、人生においても貴重な経験となることでしょう。



2023年海外合宿  
香港



2023年HKICC世界大会  
出場チームのメンバー

## GMPに参加するには？

GMPに少しでも興味がある人は、GMPウェブサイト、GMP Annual Report を見てみてください。

[GMPウェブサイト] <https://www.waseda.jp/fcom/soc/students/gmp>

[GMPアニュアルレポート] <https://www.waseda.jp/fcom/soc/assets/uploads/2024/02/f44fdbca83c77e22ef3f499417cc3624.pdf>

GMPに参加するには、3年生からGMPゼミに所属することが必要です。GMPゼミに入り次第、GMPの学生となります。ですので、GMPに参加したい人は、GMPゼミに応募してもらえればと思います。GMPゼミは、後の専門ゼミ紹介のページに  のマークがついています。

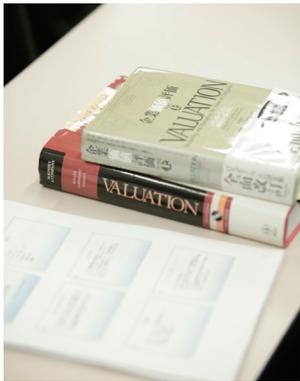


GMP  
ウェブサイト



GMP  
アニュアルレポート

# 専門ゼミとは



- 専門教育科目演習(ゼミ)では、担当教員の指導のもと、設定したテーマについて調査・資料収集をして、レポートやプレゼンテーション資料を作成し、それをもとに他の学生と討論する形式をとります。通常の授業とは異なり、少人数制で2年間継続することが前提です。
- ゼミの活動を通じて、将来の実務で必要となる課題設定および課題解決能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、文章作成能力を養います。また、合宿や懇親会など、担当教員や他の学生と交流する機会も得られます。
- なお、商学部には6トラック(経営トラック、会計トラック、マーケティング・国際ビジネストラック、金融・保険トラック、経済トラック、産業トラック)、約60のゼミがあります。
- ゼミは、以下の通り、半期の科目と専門教育科目演習論文(ゼミ論文)から構成されます。

		履修学年	単位数
専門教育科目演習	専門教育科目演習ⅠA	3年生	2単位
	専門教育科目演習ⅠB	3年生	2単位
	専門教育科目演習ⅡA	4年生	2単位
	専門教育科目演習ⅡB	4年生	2単位
	専門教育科目演習論文	4年生	4単位

## ◆ 選考までのステップ

<b>STEP1</b>	<b>説明会への参加</b>
↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 興味のあるゼミの説明会に参加し、ゼミの内容や講義の進め方、研究テーマ等の情報を収集する。</li> <li>✓ 秋説明会は、9月上旬に行われます。</li> </ul>
<b>STEP2</b>	<b>応募</b>
↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 収集した情報を踏まえ、MyWasedaから応募ゼミの情報を入力する。</li> <li>✓ Webでの「応募ゼミ申請」と併せて、応募書類を提出する。</li> <li>✓ 1次選考の応募書類提出期間は、9月上旬です。</li> </ul>
<b>STEP3</b>	<b>選考試験</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 応募ゼミの選考日、選考場所等を確認し、選考試験を受ける(レポート課題のみの場合もあり)。</li> <li>✓ 1次選考は、9月中旬頃に行われる予定です。</li> </ul>

※上記について変更の可能性がありますので、商学部HP等にて確認してください。

# 特集



掲載は科目配当順

# 専門ゼミ目次

2025年度開講ゼミの募集の有無については、商学部ホームページまたは掲示板を確認してください。

## ●経営トラック

現代企業研究	坂野 友昭	07
組織と戦略	藤田 誠	07
起業家精神とビジネスモデル	井上 達彦	07
会社法研究	中村 信男	07
企業法研究	和田 宗久	08
企業と環境・社会	谷本 寛治	08
経営戦略研究	山野井順一	08
組織行動研究	村瀬 俊朗	08
Contemporary Strategic Management	マレン ジョエル	09
応用組織論研究	三橋 平	09
ヒューマン・リソース・マネジメント研究	梁取 美夫	09
民法研究	新井 剛	09

## ●会計トラック

現代管理会計論	長谷川恵一	10
現代の財務会計	川村 義則	10
財務報告と分析	奥村 雅史	10
企業価値評価研究	大鹿 智基	10
財務報告の研究	山内 暁	11
財務会計研究	八重倉 孝	11
Accounting, Economics and Society	スズキ トモ	11
会計・監査実務研究	関根 愛子	11

## ●マーケティング・国際ビジネストラック

現代マーケティング研究	恩蔵 直人	12
現代広告研究	嶋村 和恵	12
マーケティング・サイエンス研究	守口 剛	12
消費者心理学研究	須永 努	12
Consumer Behavior Research	フランク ビョーン	-
マーケティング・コミュニケーション研究	石井 裕明	13
貿易商務研究	田口 尚志	13
グローバル経営	谷口 真美	13
国際貿易と経済学	市田 敏啓	13
国際貿易研究	横田 一彦	14
International Corporate Strategy	エドマン ジェスパー	14

## ●金融・保険トラック

リスクマネジメント研究	李 洪茂	14
The World's Corporations in a Globalized Society	広田 真一	14
コーポレート・ファイナンス	谷川 寧彦	15
Study of Insurance from a Global Perspective	中出 哲	15
フィナンシャル・エコノミクス	尾崎 祐介	15
保険経営と数理	星野 明雄	15

## ●経済トラック

マクロ経済理論	片岡 孝夫	16
開発経済学研究	高瀬 浩一	16
数理計量分析研究	毛利 裕昭	16
コンピュータによる統計分析とその応用	坂野 慎哉	16
企業の経済学	久保 克行	17
計量経済学とその応用	片山 東	17
産業組織論研究	加納 和子	17
Empirical Study of Policy Evaluation	富 蓉	17
数理経済学研究	原 和弘	18

## ●産業トラック

日本企業システムの経済分析	宮島 英昭	18
国際経済学研究	横山 将義	18
日本経済史研究	花井 俊介	18
国際経済関係研究	池尾 愛子	19
Economic and Business History: Global Perspectives	矢後 和彦	19
雇用労働研究	小倉 一哉	19
イノベーション研究	清水 洋	19
産業・企業ダイナミクス研究	宮川 大介	20

GMP 対象ゼミ



●経営トラック

●会計トラック

●マーケティング・国際ビジネストラック

●金融・保険トラック

●経済トラック

●産業トラック

● 経営トピック

## 現代企業研究

坂野 友昭 先生



### ■ 研究テーマ

坂野ゼミでは、現代企業が直面するさまざまな問題を多面的な角度から検討し、それに対する分析能力や解決能力を身につけることを目的としています。

### ■ 活動内容

先生が企業とテーマを定め、グループごとに、マーケティング、ファイナンスなど様々な視

点から分析し、プレゼンを行います。プレゼン後はゼミ全体で質疑応答、先生を交えたディスカッションを行い、先生によるフィードバックがあります。また坂野ゼミでは、学生主体のサブゼミがあり、就職時に役立つ実践的な能力を身につけることを目的としています。サブゼミのテーマ自体は自由で、ゼミ生

の自主性を促す形式になっているので、皆高いモチベーションをもって取り組んでいます。

### ■ 新ゼミ生へ

坂野先生が2025年3月をもって退職されるため、本年度の新ゼミ生の募集は行いません。

人数：3年生0人、4年生23人 執筆：森創太郎

● 会計トピック

## 組織と戦略

藤田 誠 先生



### ■ 研究テーマ

経営学に関するテーマを幅広く扱います。経営戦略、組織構造をはじめ、コーポレート・ガバナンス、リーダーシップ、モチベーションなどに関するテーマも取り上げます。ゼミ論文作成に際しては、各人（各グループ）の興味を尊重します。

### ■ 活動内容

春学期は、教材を指定して輪読形式で実施します。秋学期は、グループでのゼミ論文作成と慶應義塾大学商学部小沢ゼミとのインゼミでの発表・討論がメインの活動になります。また、論文作成のため、統計に関する学習、統計ソフトの使い方なども学習します。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミは、各人の主体的な行動が期待されるという点をよく認識してください。

### ゼミ Twitter:

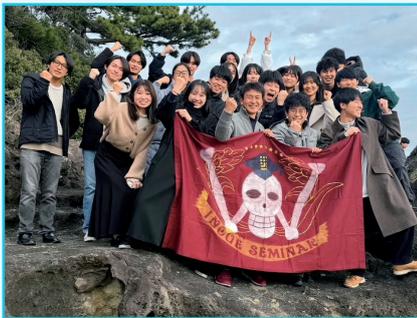
[https://twitter.com/fujita\\_zemi](https://twitter.com/fujita_zemi)

人数：3年生17人、4年生15人 執筆：宮地 遥菜

● マーケティング・国際ビジネスストラック

## 起業家精神とビジネスモデル

井上 達彦 先生



### ■ 研究テーマ

「成功した企業」と聞いてどんな企業を思い浮かべますか？いわゆるGAF AやAirbnbなどでしょうか。いずれの企業もサービスやアイデアは秀逸でしょう。しかし、それだけでは「勝ち続ける」ことはできません。成功し勝ち続けるには裏側の目に見えない仕組みこそ本当の要因はあるはずです。私たちはそこに焦点を当てて活動をしています。

### ■ 活動内容

井上ゼミでの活動は、特定の企業のビジネスモデル分析から始まります。この過程で学術研究の流れやフィールドワークの基礎を身につけます。その後は輪読や外部の方との交流などを通して、ビジネスモデルに関する理解を深めたり、自ら問いを設定して本格的に研究活動に取り組んだりしていきます。

### ■ 新ゼミ生へ

私たちのモットーは「考動する知識人」です。考えなしに思いつきで行動するのでも、机の前で考えるだけで行動に移さないのでもなく、常に考えながら実行することを大事にしています。このモットーに共感し、自身もそうした力を育みたいと強く思う人をお待ちしています。

### ゼミ HP:

<https://sem-inoue.waseda.jp>

人数：3年生10人、4年生10人 執筆：新井 花菜

● 金融・保険トピック

● 経済トピック

## 会社法研究

中村 信男 先生

### ■ 研究テーマ

中村ゼミでは研究テーマとして「会社法」を扱います。会社法を中心に、組織の運営形態や資金調達方法、新規事業展開といった経営戦略上の重要な意思決定過程を考察することにより、ビジネスの現場に対する理解を深めることを活動目標としています。

### ■ 活動内容

会社法研究Ⅰでは、会社法に関する実際の経営問題を題材にしたケーススタディを中心に、複数人のグループ毎に対象事例の研究・報告を行います。会社法の基礎知識の習得と並行しつつ、実社会における会社法の役割に関して実践的に理解します。会社法研究Ⅱについては、個人もしくはグループ

単位での卒業論文の作成が主な活動内容です。

### ■ 新ゼミ生へ

中村ゼミには体育会系から文化系まで男女ともに個性豊かなゼミ生が所属しており、進路に関してもメーカーや金融、インフラ、IT等の民間企業から公務員、公認会計士、法科大学院等まで様々です。多種多様なゼミ生と関わり合いな

がら、ゼミにおける活動に真摯に取り組む意欲に満ちた方々を中村ゼミ一同お待ちしております。

人数：3年生9人、4年生9人 執筆：高山直也

● 産業トピック

## 企業法研究

和田 宗久 先生



### ■ 研究テーマ

和田ゼミは企業法を研究テーマにしているゼミです。商学部で法律ゼミかと思う人もいるかもしれませんが、会社は企業法の枠組みの中で成り立っているため、それを知ることが世の中の企業問題を知ることができます。具体的には、企業のM&Aやコーポレートガバナンスなど、昨今の企業を取り巻く問題や紛争を法的な観点

点から捉え、研究を行っています。

### ■ 活動内容

3人～4人のグループに別れ、与えられた企業法に関するテーマについて、判例や文献を用いて、資料をまとめ発表します。研究を進める中で、法制度や企業づくりの問題点を発見し、解決策を考え、より深い理解につなげます。活動は先輩と同期を混ぜたグループで行うため、法律科目に苦手意識がある方も安心です。ま

た夏休みにはゼミ合宿も行い、交流を図っています。

### ■ 新ゼミ生へ

和田ゼミはグループで活動することから先輩・同期と分け隔てなく仲良くなる機会が多くあります！また、活動日数も多すぎることがないため、部活やサークルなどの課外活動とも両立しやすいです。ゼミ生一同皆さんの参加をお待ちしています！

人数：3年生7人、4年生7人 執筆：高橋 楓季

## 企業と環境・社会

谷本 寛治 先生



### ■ 研究テーマ

谷本ゼミナールでは、CSR（企業の社会的責任）をテーマに、企業が財務・非財務の両面において優れた経営活動を行っていくにはどうすればよいか経営戦略や経営組織、コーポレート・ガバナンス等様々な切り口から研究しています。

### ■ 活動内容

3年生の前期は文献を要約し、グループに分かれて毎週レジュメを

作成、ディスカッションを行います。夏には3・4年生が合同でプロジェクト研究・合宿を行います。後期は早稲田祭や他大学との合同ゼミなどのグループ研究、企業との共同プロジェクトに取り組みます。4年生ではこれまでの集大成として卒業論文を執筆します。

### ■ 新ゼミ生へ

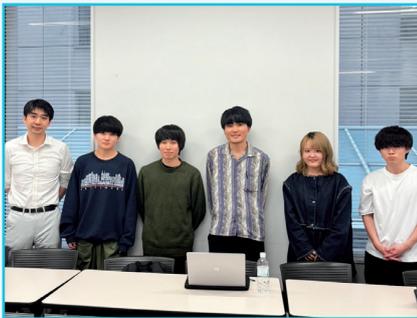
谷本ゼミでは能動的に活動する姿勢を大切にしています。「調べる」

「まとめる」「伝える」という人生の基礎となる力をつける活動を繰り返すことで、常に成長し続けることができる環境です。谷本ゼミは今後新ゼミ生を募集することはありませんが、是非谷本先生の授業を履修して、雰囲気味わってみてください。

人数：3年生11人、4年生11人 執筆：佐野 育穂、若山 芽生

## 経営戦略研究

山野井 順一 先生



### ■ 研究テーマ

3年前期には「世界標準の経営理論」と英語の論文を用い、ゼミ生とディスカッションを通して、経営理論について幅広く学びます。その後、メイン活動となるグループ・プロジェクトに入ります。ここでは、グループごとにテーマ設定、先行研究調査、データ収集・分析を行います。ここでの目標は、プロジェクトの成果としての論文を

学内外の懸賞論文コンテストに出し、一等を取ることです。

### ■ 活動内容

私たちは、経営戦略に関する事例を定量的に分析し研究しています。ゼミでは様々な企業事例から経営戦略の理論に基づいて因果関係を導き、仮説を立て、統計を用いて検証します。これらの活動を通して、経営理論や統計学、語学、論理的思考力を体得することを目標

します。

### ■ 新ゼミ生へ

山野井ゼミでは、経営理論のみならず統計や英語論文、企業事例などを広く扱うとともに、論理的思考も求められます。よって向学心と多少の忍耐力が必要となります。将来役立つスキルを身に付けるために真剣に活動したい学生には、ぴったりのゼミです。ゼミ生一同、皆さんの参加を心待ちにしています。

人数：3年生6人、4年生8人 執筆：坂尾 萌

## 組織行動研究

村瀬 俊朗 先生

### ■ 研究テーマ

リーダーシップ、チームワーク、モチベーション、職務満足など、様々な組織の「人」に関するテーマを研究するゼミです。主に2人や3人一組の班を組んで、学生主導で課題や研究を行います。「どんなリーダーシップがチームワークに必要か」「モチベーションはなぜ高まらないのか」など、みなさんも過去に一度は疑問に持ったことがあるのではないのでしょうか。村瀬ゼミでは、

これらの身近にある「人」の疑問に着目して仮説を練り、データ検証を通して、自分達の解を見つけます。

### ■ 活動内容

ゼミでは、「輪読とリサーチプロジェクト」を中心に活動します。3年生では、並行履修科目の組織行動論とゼミのレクチャーを通して組織の人にまつわる基礎知識を身に付けてもらいます。プロジェクトは、企業との合同もあれば、ゼミ内のみでの活動の場合もあります。

プロジェクトを通して、チームメンバーとテーマを議論し、データ分析を行い、自らの解が正しいかを検証し、結果をゼミ内や企業の方々に発表します。ゼミの2年間にいくつかのチームプロジェクトを行い、4年生の最後に総仕上げとしてグループで卒業論文に取り組みすることで、「自らの頭で考え、議論し、行動できる」人材へ成長してもらうことが、ゼミの目標です。

### ■ 新ゼミ生へ

村瀬ゼミの目標は早稲田大学でユニークなゼミを作ることです。ゼミで研究に真剣に取り組み、加えて「work hard & play hard」の精神で学生生活を送りたい方々の応募をお待ちしています。

人数：3年生14人、4年生14人 執筆：村瀬 俊朗先生

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティング・国際ビジネストラック

● 金融・保険トラック

● 経済トラック

● 産業トラック

● 経営トラック

## Contemporary Strategic Management



マレン ジョエル 先生



### ■ 研究テーマ

This zemi is for students interested in learning about business strategy in a world characterized by major challenges including climate change, rapidly advancing technologies, and pandemic diseases among others. The complexity of the modern world means that effective business strategy must be a dynamic and evolving process that adapts to a changing business landscape. To address these challenges, managers must be able to identify causes and consequences of

important change in both the market and non-market environments of the firm.

### ■ 活動内容

We will work to understand important issues that influence business strategy today using a range of perspectives, with a particular emphasis on the dynamic change characterizing the co-evolution of companies and business contexts. This zemi emphasizes the use of modeling and computational simulation approaches, as well as application of data analysis methods. Content-wise, we will pay special

attention reciprocal relations between business and the natural environment. However, what we learn is useful across strategic management issues.

### ■ 新ゼミ生へ

Successful companies design strategies that leverage broader changes taking place in the world to innovate and remain competitive. Students will learn to recognize and respond to these complex issues by exploring how successful business fits into the broader social and natural environments in which we live.

人数：3年生5人、4年生4人 執筆：マレン ジョエル先生

● 会計トラック

## 応用組織論研究

三橋 平 先生



### ■ 研究テーマ

経営学、組織科学、経営組織論分野のゼミです。組織や、組織内の人材が、時代をリードし、変化に適応し、新しい価値を生み続けるためのメカニズムを実証的に研究することを目的としています。卒業研究のテーマは、就職や映画のデータを用いた研究、オンライン・ゲーム・サイ

トなどのレビュー・コメント分析、イノベティブな水着の特許分析、テニスのホーム・ゲームでの勝率データなど、自分の関心に沿いながら、正確な論証と実証に基づく卒業研究ができるようサポートしています。

### ■ 活動内容

ともかく楽しく、笑顔で、毎週のゼミが待ち遠しくなるように

運営しています。3・4年生共同のゼミで、和気あいあいと学び合えるのが大きな特徴です。

### ■ 新ゼミ生へ

大学時代に自分の将来に影響を与えるような出会いに恵まれることを願っています。

人数：3年生2人、4年生9人 執筆：三橋 平先生

● マーケティング・国際ビジネストラック

## ヒューマン・リソース・マネジメント研究



梁取 美夫 先生

### ■ Theme:

We investigate how organizations effectively manage their workforces to achieve their goals. Our interests go beyond national boundaries; we examine various management practices (e.g., recruitment and selection,

compensation, performance management) adopted in organizations around the world.

### ■ Activities:

I will try to strike a good a good balance between research and practice. Students will learn how to (1) read and understand academic research articles,

(2) apply research findings to organizational practices, and (3) conduct research to answer their own business questions.

### ■ Message:

2025年度から GMP 所属ゼミとなります。ゼミでは英語を使用しますが、これは英語を学ぶためではなく最新の情報をカバー

している文献の多くが英語により書かれているからです。たとえ現時点では英語力が不十分でも最新の理論と実務に触れたいという意欲のある学生と一緒に活動したいと考えています。

人数：3年生11人、4年生12人 執筆：梁取 美夫先生

● 金融・保険トラック

● 経済トラック

## 民法研究

新井 剛 先生



### ■ 研究テーマ

新井ゼミでは、民法を研究します。民

法は、皆さんが生活者として、あるいは企業人として生きていくなかで、何

らかのトラブルに遭った時に役立つ法律です。したがって、民法は私たち一般市民にとって最も身近で、重要な法律の一つといえるでしょう。

### ■ 活動内容

①民法の構造を理解した上で、最近になって相次いでいる民法改正の内容や背景等を学びます。②実務への影響が大きい最高裁判所の出す「判例」の内容や意義を皆で検討します。③法律問題をテーマとするシネマの鑑賞を通し

て、日本の法制度の問題点を考察します。

### ■ 新ゼミ生へ

大学生活、100% 楽しめていますか？このゼミに入ったら、学びも遊びも全力で楽しむことが出来ます!!ゼミの時間は活発な議論を、休みの日はみんなで楽しく遊びに行くなど、メリハリを大事にしているゼミです!個性豊かなゼミ生や、学生思いで優しい先生と一緒に民法を楽しく学びましょう!!

人数：3年生16人、4年生16人 執筆：劉大地、南莉子、古宮山天音

● 産業トラック

## 現代管理会計論

長谷川 恵一 先生



■ **研究テーマ**  
企業の意思決定や業績管理等に用いられる「管理会計」を中心にした研究を行っています。管理会計論は経理・会計の範囲のみならず経営戦略・マーケティングなどの分野とも密接に関わっているため、自身の興味に合わせて幅広い分野の研究に挑戦できます。

■ **活動内容**  
まずゼミ内定後に管理会計とブレ

ゼンの基礎知識を身に着的けるため、二年次の秋学期に四年生指導の下「メンターゼミ」を行います。その後、三年次の春学期に仮想の企業を自身で経営し会計や経営戦略が実際にどのように業績に関わってくるかを体験する「ビジネスゲーム」を行い、秋学期にはグループごとに研究テーマを決め他大学と合同で研究発表する「インゼミ」を行います。四年次は卒業論文制

作が中心となります。

■ **新ゼミ生へ**  
長谷川ゼミの活動はグループで行うことが多く、他のゼミ生や先輩と交流する機会も多いです。また、昨年度から合宿も復活し年に2回開催することができました！ぜひ長谷川ゼミと一緒に有意義な学生生活を送りましょう！

人数：3年生 16人、4年生 16人 執筆：柳澤 佑汰

## 現代の財務会計

川村 義則 先生

■ **研究テーマ**  
川村ゼミでは、公認会計士となることを希望する学生を募集しています。財務会計・簿記に関する基礎的な知識とそれを応用する能力の習得を目標とします。財務会計に関する様々なトピックスについて、会計基準をベースとして、基礎的な概念やルールを学ぶとともに、ケースワーク（問題の作成）

などを通じた能動的な学習をしていきます。

■ **活動内容**  
3年生は、財務会計に関する基礎知識をしっかりと身につけることから始めます。財務会計の領域ごとに、まずは基礎的な用語やルールの確認を行った後、主要な論点を網羅する択一問題の作成・解答や簿記的な知識を確認するための

ケースワークを行っていきます。企業の実際の有価証券報告書を用いた読解や分析を行います。また、後期には他のゼミを交えた研究発表会（インターゼミ）も企画しています。4年生は、卒業論文の制作が主な活動になります。例年、主要な会計問題に関する会計基準研究や財務諸表分析を通じた企業研究などがテーマとして選ばれてい

ます。

■ **新ゼミ生へ**  
2022年度からは、当ゼミでは、公認会計士を目指すことを旗印として頑張っています。志を高く持って、ともに学び、やり遂げる意欲のある学生の応募を期待しています。

人数：3年生 8人、4年生 14人 執筆：ゼミ生一同

## 財務報告と分析

奥村 雅史 先生



■ **研究テーマ**  
企業情報の中核である会計情報の有用性を多角的に検討します。とくに財務会計の機能（情報提供機能や利害調整機能）について理論的に理解し、財務データや株価データを分析することによってその機能を分析します。分析スキルを身に付けながら専門知識を深めることがポイントです。

■ **活動内容**  
3年生は、専門性の高い文献の輪読に

よって財務会計の機能を深く理解し、関連事象についてPCによるデータ分析を行います（ゼミはPC教室で実施）。また、サブゼミを利用して日経STOCKリーグに参加します。そこでは、ビジネスの存在意義を検討しながら投資テーマを決定し、これを実現する株式投資を提案します（昨年度は4チーム中2チームが入選、うち1チームは「フードロス」を投資テーマとする提案で大学部門トップの部門優秀賞（大学）を受賞）。

4年生は卒業論文の作成と幅広い分野の文献の輪読をします。なお、合宿、公的機関や企業の見学、OB・OG会、他ゼミと合同のインターゼミを行います。

■ **新ゼミ生へ**  
ビジネスについてPCを利用したデータ分析、論文執筆、プレゼンをやりたい人（PC初心者でもOK）はぜひ参加してください。  
Instagram: [https://www.instagram.com/okumura\\_seminar/](https://www.instagram.com/okumura_seminar/)

人数：3年生 15人、4年生 16人 執筆：ゼミ生一同

## 企業価値評価研究

大鹿 智基 先生



■ **研究テーマ**  
このゼミでは企業価値評価という分野について学びます。企業価値評価は、財務諸表を読み解く会計の知識に加えてマーケティング戦略への理解、経済学を利用した市場動向の把握などの商学にまつわる分野と、政治の動向や環境問題などの商学以外の分野から、企業の将来性を幅広い視野で見ることが出来る学問です。この分野で使われる知識はM&Aや株式投資、企業の課題解決など、様々な戦略的判断を下す際にも活用されています。

■ **活動内容**  
活動内容は毎年異なりますが、今年度春学期の活動の1つに輪読があります。輪読では文章の内容をまとめて発表する報告と、論点を探して議論を行う討論を行います。報告では表現力、討論では考察力を身につけることを目標としています。また秋学期には発想力と論理的な文章を書く能力を身につけるために、論文を執筆します。その他にもゼミ生同士の仲を深めるために、月一企画や年一企画という交流イベントを企画しています。加えて他大学との合同ゼミ合宿ではビジ

ネスゲームを行うため、ゼミ生以外とも交流しながら学ぶ機会があります。

■ **新ゼミ生へ**  
このゼミでは会計の知識を応用するだけではなく、企業価値評価という研究テーマで様々な学問を融合して学びます。また毎年ゼミの目標を自分たちの代で設定し、それに沿った活動内容を決定するため、自由度が高いです。積極的に行動できる主体性のある人、責任感があり、継続して物事に取り組み人をお待ちしています！ぜひ私たちとのゼミと一緒に活動しましょう！

人数：3年生 12人、4年生 6人 執筆：ゼミ生一同

● 経営トラフィック

● 会計トラフィック

● マーケティング・国際ビジネストラフィック

● 金融・保険トラフィック

● 経済トラフィック

● 産業トラフィック

● 経営トピック

## 財務報告の研究

山内 暁 先生



### ■ 研究テーマ

会計を中心としつつ、他分野（マーケティング・経営戦略など）と融合させて学びます。社会に出てから会計を学び直す人は多い

でしょう。「会計がわからなければ真の経営者にならない」（稲盛和夫）という言葉が表すように、会計リテラシーはビジネスに必要不可欠です。なぜなら、会計がビジネス活動を表すストラクチャーであり、ビジネスの共通言語であるためです。ビジネスの共通言語である会計は、社会に出てからの強い武器となるでしょう。なかには「会計は味気ない」と感じる人もいるかもしれませんが。そう感じるの、会計を単独でみているためかし

りません。しかし実は、会計は他分野と切っても切り離せないものです。それらを一体として学べば、会計が面白くなります。私達は、知識の丸暗記などではなく、生きた会計と戦略思考を学びます。

### ■ 活動内容

- 3年前期：輪読（会計ファイナンス等を扱う教科書を使用）、5分間プレゼン
- 3年後期：インゼミ（知識を実践）、5分間プレゼン
- 4年：卒論執筆

### ■ 新ゼミ生へ

- どのような方におすすすめ？
  - ・会計と他分野を融合させて学びたい方
  - ・資格勉強などと両立したい方
  - ・ゼミを楽しみ、生涯の思い出を作りたい方
- X: @yamauchi\_zemi (右上 QR コード)  
YouTube: <https://m.youtube.com/channel/UCdVH3flmJCQ9GPYT6ad2i3g>  
HP: <http://yamauchizemi.wix.com/yamauchizemi>



人数：3年生 20人、4年生 20人 執筆：漆原 隆

● 会計トピック

## 財務会計研究

八重倉 孝 先生

### ■ 研究テーマ

国際分野を中心とした財務会計の理論について体系的に学び、会計情報の作成者や利用者の視点から分析を行います。また、会計情報が市場に与える影響などを経済学や統計学の視点を織り交ぜ、実証的分析を試みます。

### ■ 活動内容

3年次前半は財務会計の応用書を扱

い、個々のトピックについてプレゼンや議論を行います。並行して論文作成やプレゼンの技術を学びます。後半にはより発展した議論を応用書を用いて行い、グループでの論文作成を行います。4年では主に個人の卒業論文作成に取り組みます。また、夏合宿（コロナ禍で中断していたが、2023年度から再開の予定）や、東京証券取引所・

日本銀行等の見学を行います。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミは創設8年目のゼミです。ゼミ生が主体となり、先生と協力して運営しているのが特徴です。新しいゼミならではの自由で柔軟な活動ができます。ゼミで得られたさまざまな知識と経験は卒業後も必ず大きな力になると思います。財務会計学に興味がある人や、学

問を学ぶ上で論理的に考えるのが好きな人、その力をつけたいと考えている人は、ぜひ私たちのゼミと一緒に学びましょう。（なお、担当教員が2024年度から特別研究期間に入る予定のため、本年度は新規ゼミ生の募集を行わない予定です）。

人数：3年生 0人、4年生 2人 執筆：八重倉 孝先生

● マーケティング・国際ビジネス

## Accounting, Economics and Society



スズキ トモ 先生



### ■ 研究テーマ

「Accounting（説明+行動）」を制度設計上の「ナッジ」として応用し「新しい現実の構築」（新しいビジネス、経済、開発学、環境、政治、文化、社会、サステナビリティ等）を研究・実践しています。例えば損益計算書上のほんの追加的な一行だけでインドの経済・経営活動を一変させた「One Additional Line」についてグーグルしてみてください。日本や25年後の中国・インドのような成熟経済・社会における制度設

計も遂行中。教授の『幸福と会計』や『関経連レポート』は岸田内閣の「新しい資本主義」構想の基礎として利用されています。

### ■ 活動内容

GMPゼミの一つ。ゼミ員がそれぞれの将来目標「やりたいこと」を見つけてことが最優先です。学術的、実務的なテーマのいずれも可能。政府のプロジェクトや企業から委嘱されたテーマに参加可能。ゼミ運営方針や合宿や懇親会などはゼミ生と教員の合議で決めます。

### ■ 新ゼミ生へ

オックスフォードで最高賞を得ていた教授によるモチベーションが高くフレンドリーなゼミです。研究者や官庁職員や国際組織職員やソーシャル・アントレや留学を希望している学生も歓迎。積極的な学生は1、2年生のうちからゼミに参加しています。ツイッター等は多用しませんが、個々の事情や希望を重視しますので積極的にスズキ教授にお問い合わせください（researchmap.jp/tomo.suzuki）。

人数：3年生 5人、4年生 6人 執筆：ゼミ員一同

● 金融・保険トピック

● 経済トピック

## 会計・監査実務研究

関根 愛子 先生



### ■ 研究テーマ

実務に直結した学問である会計や監査を将来活かしていくために、授業で学んだ基本的な内容や考え方を踏まえ、どのように実務で使われているのかを知り、どのように

使われるべきかを考え、議論していきます。

### ■ 活動内容

会計や監査は国際的に標準化しているものの、実際のビジネスは一律ではありません。そのため、会計処理や監査の業務には常に

判断が付きものであり、それをコミュニケーションしていくことが重要です。本ゼミにおいては、実際のビジネスや実務を踏まえた生きた議論を行い、どのように対応していくべきかを考えていきます。具体的なイメージを持つための企業等への訪問も積極的にを行っています。また、3・4年合同での夏合宿や年二回ほど企業訪問を行っています。

### ■ 新ゼミ生へ

「会計」「監査」と聞くと機械的に当てはめられるだけ、地味といったイメージがあるかもしれませんが、でも、実際には、従うべき基

準を作るにも様々な背景があり、基準に従って処理するのにも企業のビジネスをどうみているかで議論が分かれるものであり、実務はとても奥深いものです。担当教員のこれまでの実務経験を通じて得た様々な会計や監査の実務を学び、メンバーで議論できるこのゼミは、基礎を学んだものの、なぜそうになっているか、実務はどのように動いているかになる方に適しています。皆さんの積極的な参加を心からお待ちしております。

人数：3年生 19人、4年生 23人 執筆：ゼミ生一同・教員

● 産業トピック

## 現代マーケティング研究

恩蔵 直人 先生



■ **研究テーマ**  
ブランド戦略、製品市場戦略、市場参入戦略など、幅広いマーケティング戦略を深く掘り下げます。学生主体で研究テーマを設定し、発表することで、マーケティングの本質を理解し、主体的に学ぶことができます。

■ **活動内容**  
週1回の本ゼミと週2回のサブゼミで、4～5人のグループに分か

れて研究発表を行います。先生と学生からのフィードバックを通じて、マーケティング知識を深め、多角的な思考力を養います。サブゼミでは、学生主体で活動内容を決定し、議論を深めます。さらに、ビジネスコンテストへの参加や企業とのワークショップなど、実践的な学びの機会も充実しています。

■ **新ゼミ生へ**  
恩蔵ゼミの魅力は、学生が主体的

に活動できる環境です。研究テーマ設定や議論を通して、自主性と協調性を養えます。また、体育会や留学と両立しやすい環境も整っています。33年の歴史の中で培ってきたOB・OGとのネットワークも強みです。熱意と高い意識を持ち、互いに刺激を与え合いながら成長できる仲間を求めています。

人数：3年生22人、4年生27人 執筆：張 宸瑜

## 現代広告研究

嶋村 和恵 先生



2024年2月14日に開催したOBOG会にて

■ **研究テーマ**  
絶えず変化する広告コミュニケーションの在り方や、広告活動を中心とした企業のマーケティング戦略について学びます。デジタル化や多様化が進む現代において、企業と消費者の効果的なコミュニケーション手法を探求しています。

■ **活動内容**  
「本ゼミ」では、班ごとに教科書の内容を中心に発表を行い、それに

対する先生からのフィードバックや、全体での議論を通して理解を深めます。実際の事例を踏まえながら、広告・マーケティングに関する知識を習得することができ、プレゼンテーションスキルの向上にもつながります。また「サブゼミ」では、企業から課題をいただき、商品企画やマーケティング施策の立案に取り組みます。先生や社員の方々からアドバイスをいた

だきながら、グループで議論を進め、最終的には企業の方々に向けて施策プレゼンを行います。ビジネスの場における実践的な応用力を養うことができ、理論と実践の両面で学びを深められます。

■ **新ゼミ生へ**  
当ゼミは現在の3年生で終了し、今後の募集は行いません。  
Instagram: <https://www.instagram.com/shimazemi27/>

人数：3年生23人、4年生21人 執筆：藤田 那月

## マーケティング・サイエンス研究

守口 剛 先生

■ **研究テーマ**  
マーケティング・サイエンスとは、マーケティングにおける諸問題に対しデータ分析などの科学的手法を適用することで、マーケティング上の意思決定の質を向上させる方法論を研究する学問分野です。デジタル化が進み多くのデータが集まる現代において、科学的な視点を踏まえてマーケティングを行うことの重要性はますます高まっています。

■ **活動内容**  
毎週行われる本ゼミ・サブゼミに加え、春学期は他大学と合同で行う「インターカレッジゼミ」、秋学期は「関東学生マーケティング大会」への参加が主な活動です。これらの活動を通して、マーケティングに関する知識はもちろん、プレゼン能力やロジカルシンキング、統計的データ解析といった将来にも繋がるビジネス・スキルを身につけることが出来ます。

■ **新ゼミ生へ**  
守口ゼミの大きな特徴として「熱量の高さ」が挙げられます。特に最大の活動である「関東学生マーケティング大会」での優勝を目指し、ゼミ生は日々全力でゼミ活動に向かっています。ゼミ生ひとりひとりが主体性を持ち、絶対に目標を成し遂げると強い気持ちを持って活動しています。このような仲間と共通の目標に向かって活動できる熱量の高い環境は、守口ゼミでしか味わえない貴重なものです。大学生生活の後半

戦、1つの大きな目標に向かって仲間と共に切磋琢磨したいと考えている人を、ゼミ生一同お待ちしております！説明会や下記のWebサイト・SNSでは、活動の詳細からゼミの様子まで様々な情報を発信しますので、是非一度ご覧ください！  
HP: <https://moriguchihp.wixsite.com/moriguchi-seminar>  
Instagram: @moriguchi\_zemi  
X: @moriguchi\_zemi

人数：3年生22人、4年生20人 執筆：手塚 亮汰

## 消費者心理学研究

須永 努 先生



■ **研究テーマ**  
消費者の意思決定・行動に関する要因を、心理学の視点から分析します。それを基に消費者と商品・サービスを効果的に繋ぐ手法を研究します。

■ **活動内容**  
週に一回の本ゼミと二回のサブゼミがあります。通年研究では、消費者心理に関したテーマでグ

ループ研究を行います。また、大きなイベントは合同ゼミと企業コラボの二つです。合同ゼミでは、通年研究の内容を他大学と発表し合い、企業コラボでは研究活動で得た知見を基に、商品開発等の実践的なマーケティング活動を行います。

■ **新ゼミ生へ**  
須永ゼミの魅力は主体性です。

言われたことを行うのではなく、ゼミ生が主体的に「何をしたいか、すべきか」を探求し、熱心にゼミ活動に取り組むため、ゼミ生によるゼミ運営が行われます。須永ゼミのゼミ生は皆、仲が良いだけでなく、向上心を持った学生の集まりです。活動内容等に興味がある方は是非、申し込んでみてください！

人数：3年生19人、4年生20人 執筆：亀井 佳音

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティング・国際ビジネストラック

● 金融・保険トラック

● 経済トラック

● 産業トラック

● 経営トラック

## マーケティング・コミュニケーション研究

石井 裕明 先生



### ■ 研究テーマ

マーケティング・コミュニケーションを中心に、様々なマーケティングの課題に取り組んでいます。消費者としての直感や経験を大切に、関連分野の学術的な理論やフレームワークから消費者の反応を正確に把握し、自分たちなりの実務的示唆を導くことがゼミの目的です。

### ■ 活動内容

3年次の活動では、実務家の方から課題をいただいて取り組むグループワーク、他大学との研究発表会、学会でのポスター発表などを行う予定です。また、合宿などのイベントも実施していきます。

### ■ 新ゼミ生へ

石井ゼミは、2024年から開設された新しいゼミです。活動内容やイベントなどについては、皆さんの要望なども踏まえながら活動内容を決められればと思います。積極的かつ真面目に取り組んでくださる方の応募をお待ちしております。

人数：3年生 23人、4年生 0人 執筆：石井 裕明先生

● 会計トラック

## 貿易商務研究

田口 尚志 先生

### ■ 研究テーマ

本ゼミは「貿易」を、とにかく具体的に、客観的に、ありのままに観察し、そこから物事を考えてみようというゼミです。必然的に、オペレーション・レベルの現場を大切に、ゆき姿勢をとりますが、「板子一枚下は地獄」を感得する当事者意識を養いたい、より上層レベルの事象も重視しながら（国際関係に絡んだ高次元の諸問題にも関心を持ってもらいたい）、「貿易」を考えてゆきます。要は、「貿易」を様々な角度から研

究し大学4年間の集大成である卒業論文に活かす。これが田口ゼミの研究テーマです。

### ■ 活動内容

ひたすら地味な内容です。安価でどこでも読める文庫や新書を中心に、できる限り多くの、幅広い内容の本一傾向としては歴史を重視したものを多く読み、考え、議論し、また考える。そして、それを卒業論文に活かし、仕上げてゆく。これらのごくごく普通のごくごくありふれた一連のプロセスです。大きなジャンプをするには大きく屈まなければなり

ません。「将来のために一度大きく屈んでみるか」と心を決めた学生に、とくに、いつでも容易に他者と繋がる今だからこそ、孤独になって物事を見つめ書庫に潜りこんで考えてみたいという学生に（ほんの少しでもそこに価値を見い出せる学生に）、来てもらいたいと思っています。ゼミは3・4年合同で行います。今年も例年通り多くの本を読む予定を組んでいます。参考までにゼミ3年生が本年度中に読むのは、『ザ・フェデリリスト』、『アメリカ外交50年』、『民間防衛』等を含め合計30冊（他

に英語論文も数本）ほどに上ります。少しきついかもしれませんが本学の学生はそれをこなす能力を十二分に持っているの、積極的にトライしてもらいたいと思っています。

### ■ 新ゼミ生へ

3・4年合同の合宿を計画しています。本当の面白みというのは真剣さがあってこそ生まれます。尖った真剣味を求めている学生は、是非、田口ゼミの門を叩いてみてください。皆さんよりほんの少し成熟した新ゼミ生が、あたたかくーときに厳しくー迎えてくれるでしょう。

人数：3年生 8人、4年生 8人 執筆：田口 尚志先生

● マーケティング・国際ビジネストラック

## グローバル経営

谷口 真美 先生



ノルウェービジネススクールとの合同討議



丸紅 KOA ベトナム現地工場視察

### ■ 研究テーマ

グローバル経営、ダイバシティ・マネジメント

### ■ 活動内容

多国籍企業が行う国境を越えた経営を、戦略論と組織論の観点から学びます。特に、人材をいかして企業価値向上につなげる人的資本経営が注目されているなか、ダイバシティ・マネジメントの観点から調査・分析・考察を行います。具体的な活動として、①最新の論文に

ついての議論 ②海外大学の学生との議論・交流 ③特定企業についての研究発表会（昨年度は伊藤忠商事、三井不動産、オムロン、MSDにご参加いただきました）④海外での企業訪問およびインタビュー調査があり、学術と経営の実践の両面から学びます。昨年度はベトナムでジェットロ、ファミリーマート、オムロン、伊藤忠商事サイゴンカイガーデン、Phu My3 特別工業団地、KOA ベトナム、ニトリ、バリアンタ

ウ師範短期大学日本語学科を訪問し、今年度は韓国での研修を予定しています。昨年の卒業生の進路は住友商事、三菱UFJ銀行、楽天グループ、NECなど、OB・OGとの繋がりも魅力です。

### ■ 新ゼミ生へ

主体的にゼミに取り組みたい方、多様な人々との交流から学びたい方、議論を活性化し結論に導く力を身に付けたい方、グローバルリーダーとして活躍したい方、谷口ゼミにてお待ちしております。

人数：3年生 8人 4年生 6人（うち2名留学中） 執筆：荒井 結月

● 金融・保険トラック

● 経済トラック

## 国際貿易と経済学

市田 敏啓 先生

### ■ 研究テーマ

本ゼミでは国際貿易に関するトピックを中心に据えながら、「経済的な考え方」を身につけ、世の中のあらゆる出来事に対して「自分の頭で考えること」ができるようになることを目的としています。英語のテキストを用いて経済学とプレゼンテーションの仕方を学び、日本語の文献を大量に読んで議論します。市田ゼ

ミに入ると、英語力、ロジカルシンキング、プレゼン力、経済学の基礎と応用が身につきます。

### ■ 活動内容

通常のゼミ活動、サブゼミに加えて、国内の勉強合宿が年2回、海外大学交流・研修合宿（2023年9月はタイ）が年1回、スキー合宿、インゼミ活動（昨年度は上智、青山、中央など）を行います。先生

はゼミ後の食事会などにも頻繁に顔を出してください、他愛のない話から社会で身につくマナーなど様々なことを教えてくださいます。また、先輩後輩の繋がりも市田ゼミの大きな魅力の1つです。卒業後の進路は総合商社、金融業界、大手メーカー、コンサルティング、マスコミ、大学教授職、シンクタンク研究者、国家公務員総合職な

ど、多岐にわたります。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミ活動の良さは、仲間と一緒に難しい課題に取り組むことです。活動に必要なのは、「やる気」や「積極性」であり、今勉強が得意であるかは全く関係ありません。市田ゼミで一所懸命に頑張りたいという思いを持った方、市田ゼミでお待ちしております。

人数：3年生 8人、4年生 10人 執筆：小林 佑

● 産業トラック

## 国際貿易研究

横田一彦 先生



人数：3年生 14人、4年生 10人 執筆者：3年生一同

● 経営トラック

● 会計トラック

## International Corporate Strategy

エドマン ジェスパー 先生

### ■ Research Theme

In this zemi we investigate the dynamic and complex international business environment. We focus on business-related strategy – including foreign market entry, innovation, local adaptation, M&A – but also on the business-society

interface, including issues related to climate change, political stability, and social development.

### ■ Activities

The zemi offers a range of different activities, including group work and presentations, online simulations, meetings with company representatives,

case study discussions, and interactions with foreign visitors. Zemi students will also get the opportunity to take part in the GMP forum with other students enrolled in the Global Management Program.

### ■ 新ゼミ生へ

The goal of this zemi is to

help you gain the skills and confidence to work in a global business environment. If you are thinking of working in an international context and care about global business and society, this is a good choice for you!

人数：3年生 13人、4年生 14人 執筆者：Edman

● マーケティング・国際ビジネストラック

## リスクマネジメント研究

李 洪茂 先生



### ■ 研究テーマ

リスクマネジメント論

### ■ 活動内容

私たちのゼミでは、毎週1人ずつ教科書の内容に関するプレゼンテーションと討論を行っています。これからAIやIOTの技術はさらに進み、世の中は今以上の速度で目まぐるしく循環していくことが予想されます。また、急変する国際情勢と経済状況の中で企業が散在

しているリスクを予想し、管理することはさらに重要になっています。そのような時代に企業はどんなリスクを考え、どのようなリスク管理方法を行うことが望ましいか、その手段について学びを進めています。

### ■ 新ゼミ生へ

こんにちは。私たち李ゼミでは、運動部や留学生など多様な人が所属しています。このような多様な

人たちと顔を突き合わせて学習していくことは大学生活において貴重な機会になると思います。ゼミ生間の仲も良く、授業はもちろん様々なイベントを開催しています。仲良く楽しいゼミ活動をしたい方、他の学校活動とゼミ活動を両立したい方はぜひ本ゼミで頑張ってください。

人数：3年生 24人、4年生 18人 執筆者：オウオンテク

● 金融・保険トラック

● 経済トラック

## The World's Corporations in a Globalized Society

広田真一 先生



台湾の大学でのプレゼンテーション

### ■ 研究テーマ

世界中の企業の経営について学びます。企業の目的、行動、戦略、ファイナンス、ガバナンス、パフォーマンス（収益性、成長性、ESG）等を国ごとに比較し、各国の企業の共通点と相違点を考察します。そして、そうした国ごとの企業の特徴が、その国の経済、法律、文化、宗教などから生じているかどうかを検討します。

### ■ 活動内容

ゼミでは、世界の企業、経済、法律、文化、宗教等の知識を身につけ、分析力・考察力を高めるとともに、英語と日本語のどちらでもプレゼンテーション、ディスカッション、ライティングができるようにします。また、今や広田ゼミの伝統となった慶應義塾大学や一橋大学とのインターゼミ（日本語で実施）、中国・香港・台湾・韓国・シンガポ-

ルなどの海外の大学の学生との共同学習（英語で実施）も行います。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミでの学習に情熱を持って取り組み、君たちの資質とポテンシャルを著しく伸ばし、10年後に日本で、あるいは世界で、グローバルな社会に貢献する人になることを願っています。

人数：3年生 10人、4年生 8人 執筆者：広田真一先生

● 産業トラック

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティング・国際ビジネストピック

● 金融・保険トピック

● 経済トピック

● 産業トピック

## コーポレート・ファイナンス

谷川 寧彦 先生



■ **研究テーマ**  
ファイナンスと機械学習です。主に金融関連の数値データと機械学習の手法を用いて予測や分類を行います。健康診断でコレステロール値が高いと運動量を増やすようアドバイスされることが多いのですが、データ上は運動量が多い人はコレステロール値も高いという傾向がありま

す。このようなパラドックスを解決する手段も学びます。

■ **活動概要**  
使うプログラム言語は Python です。基本を習得した後、ある日の株価の騰落を前日までのデータから予測するモデルを推定するなど、具体的な応用例を学びます。また、他大学とディベート交流試合も行います。

■ **新ゼミ生へ**  
時間を守り自分の守備範囲はきちんとこなすなど、チーム活動ができることが前提です。各人がゼミでやりたいことを互いに調整し、ゼミとしてまとまった活動ができれば、有益な2年間になると思います。

人数：3年生9人、4年生7人 執筆：谷川 寧彦先生

## Study of Insurance from a Global Perspective



中出 哲 先生



■ **研究テーマ**  
保険を題材にしていますが、ゼミで扱うテーマはとて広いです。保険は社会の様々な領域に関わっているためです。特に、外国の保険制度やグローバルな保険に関心を持っています。研究テーマはゼミ生が議論して決めます。現4年生は、女性活躍・少子化対策に向けた新保険の構築に取り組み、政府の方に提言し、論文としてまとめました。

■ **活動内容**  
ゼミ生がどのような能力を高めたいかを

討議したうえで活動を計画します。昨年は夏から韓国で開催される「新保険商品アイデアコンテスト」に出場するべく日本語・英語で新保険の開発に取り組みました(2024年度は中出ゼミが優勝し、韓国派遣の権利を勝ち取りました!)。秋には「東京学生保険ゼミナール」に参加して研究発表や論文作成をしました。その過程で実務者を招いた討議もしています。加えて、GMPゼミとして他のゼミや海外大学の学生と交流する機会も豊富に持っています。

■ **新ゼミ生へ**  
本ゼミは少人数ながら、何かに打ち込み、多様な分野に強みをもつ学生によって主体的に運営を行う点に特徴があります。そのため、自ら主体的に活動することが大切です。多様な学生が在籍しているからこそ、何かに挑戦しようとするゼミ生を全力で応援する環境が揃っています。進路も様々で、就職に限らず、長期留学する者や国内外の大学院に進学する者など多岐にわたります。

人数：3年生9人、4年生6人 執筆：小川 将哉

## フィナンシャル・エコノミクス

尾崎 祐介 先生



■ **研究テーマ**  
行動経済学の視点から金融を学ぶゼミです。心理学と経済学のテーマを組み合わせ行動経済学のテーマである「なぜ人間は非合理的な行動をするのか」を切り口に、金融分野の研究を行います。

■ **活動内容**  
3年生では行動経済学の教科書の輪読を行いつつ、グループに分

かれて商学部懸賞論文に向けて準備を進めていきます。研究を進めるなかで、ピリオパトルやゼミ合宿、他大学との合同ゼミを行い、多くの発表機会を設けています。またグループ活動が中心なので、ゼミ生と切磋琢磨しながら学ぶことが出来ます。

■ **新ゼミ生へ**  
尾崎ゼミではメリハリを大事に

活動しており、学んだことをアウトプットする機会が多くあります。金融をメインとしたゼミではありませんが、ゼミ生が興味ある分野を行動経済学の観点から学ぶことが出来ます。学生の主体性を重視し、学生が新しい取り組みを提案することも可能です。学生生活最後の2年間を尾崎ゼミで有意義なものにしましょう!

人数：3年生12人、4年生11人 執筆：北本 鈴花

## 保険経営と数理

星野 明雄 先生



■ **研究テーマ**  
保険会社の戦略や保険事業の特性などから題材を取り上げて研究します。皆さんに積極的な関心を持ってもらえる主題を取り上げ、ゼミ生が主体となって決定します。題材に応じて数理的な考察を行います。数学の知識は特に必要ありません。

■ **活動内容**  
今年度は「生命保険の営業と顧客が感じる価値の関係」「外貨建て一

時払い保険の問題」などのテーマで研究を行っています。1チーム5人ほどに分かれて発表準備を行い、グループディスカッションを通してテーマについての理解を深めます。また、今年度から他大学と合同で行うゼミナールや懸賞論文にも挑戦する予定です。

■ **新ゼミ生へ**  
本ゼミは今年で開講3年目です。最大の特徴は先生と学生の距離の

近さです。先生は優しくなんでも相談に乗ってくださるので、思ったことは何でも話すことができますし、保険会社での勤務経験についてのお話を聞くこともできます。ゼミ生も個性豊かで、先輩後輩別け隔てなく温かい雰囲気でも活動しています。保険に関して、経営学、マーケティング、時事問題など様々な観点から学ぶことができる点も大きな魅力です。

人数：3年生6人、4年生14人 執筆：山口 真佳

## マクロ経済理論

片岡 孝夫 先生



### ■ 研究テーマ

当ゼミのテーマの中心はマクロ経済学の理論です。マクロ経済学は時代の変化の中で大きく変化しており、さまざまな考え方を含んでいます。私たちは一つの立場にこだわることなく、それらを並列的に学習し、異なった考え方の相違点や背景について研究しています。

### ■ 活動内容

ゼミは3限から5限まで3コマ連

続で行われ、3年生は3、4限、4年生は4、5限に参加します。3限と5限にはマクロ経済学に関する本や論文を輪読し、4限には3・4年生共同で、マクロ経済のシミュレーション分析の実習を行ったり、自由なテーマによるプレゼンテーションを行っています。その他、合宿や企業見学を行っています。

### ■ 新ゼミ生へ

片岡先生は非常に学生思いで、一

人ひとりにしっかりと目をかけてくださいます。またゼミの授業は知的な楽しさに満ち溢れています。ゼミで新たなチャレンジをしたい人、大学でしかできないことをやりたいという人の参加をお待ちしています。

人数：3年生15人、4年生13人 執筆：片岡 孝夫先生

## 開発経済学研究

高瀬 浩一 先生

当ゼミでは、主に発展途上国の経済分析を中心とする開発経済学を学びます。担当教員の高瀬教授が取り組んでいる南太平洋諸島地域に関する研究に加えて、ゼミ生が関心のある地域について取り扱う事ができます。3年生の内は、卒業研究に必要な知識を身に付けることを目的

とした授業が展開されます。具体的には、ミクロ経済学の基礎の習熟や、実用的な英語、時事的な背景知識、統計分析に関する授業などが挙げられます。また、年に数回、外部の研究機関や施設にてフィールドワークも行い、生きた知識を身に付ける事ができます。当ゼミ最大の特

徴は、ゼミ活動がほぼ全てゼミ生の主体性に委ねられている点にあります。合宿やOBOG会の開催から、授業の運営方針まで、ゼミ生が主体的に意見を出すことができる自由闊達なゼミです。学生生活において何か一生懸命頑張った成果を残したい方や、決められた受け身のゼミ

活動だけでなく、自分達でゼミ活動を運営していきたい方の参加をお待ちしております。

人数：3年生11人、4年生9人 執筆：平井 太門

## 数理計量分析研究

毛利 裕昭 先生

### ■ 研究テーマ

当ゼミでは、数理解析の手法を学び、数理モデルによって経済、経営、国際関係などの社会現象の分析を行うことを研究テーマとしています。数理解析の手法は非常に多様かつ複雑です。年度により学ぶ手法は異なりますが、応用確率過程、数理最適化、オペレーションズ・リサーチなどの手法を学びます。

### ■ 活動内容

3年次は、理系数学の基礎的な教科書や、応用確率過程、数理最適化、オペレーションズ・リサーチの教科書を用いて基礎的学力を養います。教科書でゼミ生の担当箇所を指定して発表させるというスタイルではなく、全員が発表できることを前提にしてゼミを行います。4年次はその応用的な学習及び、

各自が興味を持つテーマについて、情報、論文を収集して、ゼミ論を作成します。また、数理モデルの理論、応用分野に関する研究会や国際動向に関係している外部団体のイベントへの参加を奨励しています。国際社会状況について知識を持って状況を分析することが重要だと考えているためです。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミ生ではゼミ生のレベルを見ながら理解を深めていけるように心がけて運営しています。ただ、ゼミの時間は限られていますので、各ゼミ生の個々の努力が期待されることはいまでもありません。この毛利ゼミで「数理能力×グローバル能力」を身につけ、人工知能にとって代わられない人材を目指しませんか？

人数：3年生3人、4年生3人 執筆：毛利 裕昭先生

## コンピュータによる統計分析とその応用

坂野 慎哉 先生



### ■ 研究テーマ

本ゼミの副題は「特技」としての統計分析とコンピュータ操作一です。したがって本ゼミの目的は、ゼミ生全員が統計分析能力とコンピュータ操作能力を身につけることです。

### ■ 活動内容

3年次には統計学の基礎を丁寧に学習します。春学期には教科

書の輪読で基礎知識を吸収し、Excelを用いて統計分析を行います。秋学期には問題演習を中心に行い、統計検定2級の合格を目指します。4年春学期には統計学の一分野である計量経済学を教科書の輪読と統計ソフトの使用を通じて学びます。4年秋学期には総まとめとして卒業論文を執筆します。

### ■ 新ゼミ生へ

教科書の輪読などでの知識吸収と、実際にコンピュータ操作を行う演習のバランスの取れた本ゼミでは、統計分析を「特技」として身につけることが可能です。さらに、本ゼミは比較的少人数であるため、坂野先生から細やかな指導が受けられます。皆様のご参加をお待ちしています！

人数：3年生5人、4年生4人 執筆：須藤 美季

## 企業の経済学

久保克行 先生



### ■ 研究テーマ

本ゼミでは、企業を取り巻く様々な問題を多角的にデータ分析しています。具体的には「社外取締役の人数の引き上げが企業にとってどのようにプラスか」「企業の不祥事は株価にどう影響するのか」など企業活動を理解する上で不可欠な問題を取り扱っています。経済トラックでありながら扱う領域は多岐に渡り、行動経済学やマーケティング、経営戦略、

国際経営なども同時に用います。

### ■ 活動内容

記事や論文をグループごとに分析しプレゼン発表を行います。発表の際に先生からの確かなアドバイスを頂けるので、リサーチ力に加えて論理的かつ簡潔に話す力が身に付きます。サブゼミではゼミ生が中心となりデータ分析に必要な統計学を主に学びます。また一昨年は関東マーケティング大会への準備を進めるな

ど、自主的に自由な活動もできます。秋には台湾研修を予定しています。

### ■ 新ゼミ生へ

本ゼミでは経済学をはじめとした幅広い知識を身に付けることができます。グループ活動や国内外でのゼミ合宿もあるためゼミ生同士の仲が深まること間違いなしです！

X: <https://twitter.com/kubozemi2024>

Instagram: <https://www.instagram.com/kubozemi.2024>

人数：3年生 15人、4年生 21人 執筆：八巻 裕介、星野 将栄

## 計量経済学とその応用

片山東 先生

### ■ 研究テーマ

人や企業の行動、社会現象を説明するために社会科学には様々な理論があります。それらの理論の妥当性を検証するために、「理論の与える仮説が現実のデータとマッチしているかどうか」、また「現実のデータを理論がどの程度説明できるか」を統計的にチェックする方法があります。計量経済学はそのためのツールです。理論の検証以外にも計量経済学は用いられます。例えば、政府が行った政策

の定量的評価や、「ある製品の価格や属性が変化したときに、その製品や他の製品のマーケットシェアはどのように変化するか」などの予測にも用いることができます。このゼミは、(1) 計量経済学の手法の理解、そして (2) 計量的手法を用いて現実のデータを分析する能力を身につけること、を目的とします。

### ■ 活動内容

計量経済学の学習は、「理論」の学習と「応用」（すなわち計量の理論をどの

ように現実のデータに用いるのか）の学習の二本立てになります。「理論」については教員による講義がメインです。「応用」については、計量ソフトを用いて現実のデータを分析することで、計量的手法を実際に使えるようになることを目指します。3年次の後期は2つのチームをつくり、それぞれのチームで論文を作成し、学部の懸賞論文に応募することを目標とします。この過程で学術論文の書き方を学習します。4

年次は自分でトピックを選び卒業論文を作成してもらうことになります。

### ■ 新ゼミ生へ

履修に際しては (1) 必修科目「基礎数学」程度の数学の知識、(2) 選択科目「基礎統計学」程度の確率・統計学の知識、(3) 初級レベルのミクロ経済学の知識、そして (4) Excel と Word が使える程度のコンピュータのスキル、が前提となります。この中でも確率・統計の知識は特に重要になります。

人数：3年生 2人、4年生 6人 執筆：片山東先生

## 産業組織論研究

加納和子 先生

### ■ 研究テーマ

産業組織論は、企業を経済主体として扱い、市場・産業における企業の相互依存関係や消費者行動を分析する応用ミクロ経済学の一分野です。日頃接している小売企業の戦略はどのように分析できるのか、またそうした戦略は消費者にどのような影響を及ぼすのかといった問いについて、経済学的な

視点を中心に考えます。また、ゼミではデータ分析の手法も学習します。実際にデータをみて自ら分析することで、多くの発見を得ることができます。

### ■ 活動内容

3年次には文献の購読とゼミ生による報告を行い、産業組織論の基礎的な理論やトピックを学習します。代表的な教科書や論文を輪読し、

データ分析の学習や演習をふまえたグループワークを行います。4年次には個人研究の発表と卒論の作成を行います。自ら問いをたてデータを収集し、統計学的手法を用いて分析・考察していただきます。

### ■ 新ゼミ生へ

グループワークや卒論研究では、必ずしも産業組織論の枠にとらわれる必要はなく、自身が重要だと

思う問題を深く考察してほしいと考えています。関心はあるけれど一見どう扱ってよいかわからないテーマをどのように分析可能とするかはゼミ生次第です。そのような問いにこそ、重要な問題提起がかかっている可能性があります。一緒に活気あるゼミを創っていきましょう。

人数：3年生 12人、4年生 14人 執筆：加納和子先生

## Empirical Study of Policy Evaluation



富蓉 先生



### ■ 研究テーマ

The primary aim of this seminar is to facilitate students in enhancing their decision-making proficiencies. Empirical investigations endeavor to infer a causal conclusion regarding the research inquiry by utilizing data obtained through observations or experiments.

### ■ 活動内容

This seminar mainly concentrates

on quantitative analysis, thus enabling students to acquire a comprehensive understanding of econometrics and to adeptly utilize statistical software like Stata to deduce legitimate causal inferences. Once they have established a solid foundation in empirical research, students will be expected to present their own research proposals, which could pertain to any field, such as

the healthcare system, education system, or financial laws.

### ■ 新ゼミ生へ

Upon successfully completing the seminar, students should be able to scrutinize the impact of policies using an evidence-based methodology, a fundamental skill that would be exceptionally advantageous for their future careers or graduate studies.

人数：3年 1人、4年生 3人 執筆：Sizhe Liu, Rong Fu

## 数理経済学研究

原和弘 先生

このゼミでは、数理経済学に関する研究を行います。主に意思決定理論とゲーム理論に焦点を当て、実証・規範両面から研究を行います。担当教員はこの分野の専門家であり、特に合理性の仮定に関する研究と、そうした研究をゲーム理論等の関連分野に応用する研究を行っています。

ゼミの目標は、卒業論文として一定程度独自性のある研究をまとめることです。3年次は数学書の輪読を行い、必要な数学の知識を身につけます。数学は第二外国語としてコスバが良く、一年間の勉強で多くの学術書や論文が読めるようになります。4年次は卒業論文のテーマ

を決め、関連書籍を読みながら研究を進め、成果をまとめます。ゼミ生にはゼミでの研究活動を最優先することを期待します。並行履修科目としてゲーム理論と戦略を設定します。

人数：3年生1人、4年生0人 執筆：原和弘先生

## 日本企業システムの経済分析

宮島英昭 先生

### ■ 研究テーマ

統計的手法で企業分析を行います。具体的には、戦後の日本企業のシステムの変遷や今後の課題を、経営や経済、金融などの面から分析します。「企業」「金融機関」「政府」それぞれの組織行動に着眼点を置きます。経済学をはじめ、経営学、統計学、会計学を含めた総合的な学習ができます。多岐に及ぶ分野

を学習するため、将来社会に出て役に立つ知識が身につきます。

### ■ 活動内容

本ゼミでは、毎回発表班と質問班に分かれて、与えられた課題について議論を交わします。基本的にゼミ生主体の活動となり、先生には内容のまとめ、補足などゼミ生のフォローをしていただいています。サブゼミでは、Excelを用い

て統計学を基礎から学び、分析の手法を身につけます。また、30年を超える歴史を持つ宮島ゼミでは、OBOGの方々の人数が多く、交流が深いです。

### ■ 新ゼミ生へ

当ゼミのモットーは「スポーツのように勉強する」です。基礎的なことを突き詰めて自身の研究を深めていくことは、とてもやりがい

があります。アットホームかつ緊張感のある活動の中で、そのやりがいを感じたい人、企業研究に取り組みたい人、世の中の流れを広く知りたい人など、意欲のある皆さんの参加をお待ちしています。

X: <https://twitter.com/miyajimaseminar>  
Instagram: <https://www.instagram.com/miyajimaseminar/>

人数：3年生22人、4年生16人 執筆：臼井遥香、車田尚樹

## 国際経済学研究

横山将義 先生

### ■ 研究テーマ

国際経済学は、ものの流れを対象とする国際貿易論と、かねの流れを対象とする国際マクロ経済学(国際金融論)から構成されます。これらを学ぶ上で、ミクロ経済学やマクロ経済学の基礎をしっかりと修得することが前提となります。また、理論のみならず、その応用としての経済政策についても研究を行います。

### ■ 活動内容

3年生のゼミでは、まずミクロ・マクロ経済の基礎理論を取り上げ、その後、国際経済学の分野へと進みます。テキストの指定範囲をグループごとに報告してもらい、ゼミ生間の議論を通じて国際経済学に対する理解を深めることとなります。4年生は1年間学んだ理論的背景をもとに、みずからテーマを設定して卒業論文

の執筆にあたります。経済学の分析手法などを用いて2年間の研究成果をまとめる機会となります。サブゼミは、本ゼミの準備に充てる場合もあれば、懸賞論文に取り組む場合もあり(日銀懸賞論文等で入賞しています)、ゼミ生自身が決めることになっています。毎年9月にはゼミ合宿を行い、研究だけでなく、スポーツやバーベキューなどゼミ生間の親

睦を深める機会となっています。

### ■ 新ゼミ生へ

ゼミは研究報告や相互の議論とおして、もの見方やものの考え方を身につける場です。このような知的な取り組みは、社会に出るからさまざまな場面で役立つものと思います。ゼミは共同作業の場なので、各種の活動に協調して取り組む姿勢が必要になります。

人数：3年生8人、4年生6人 執筆：横山将義先生

## 日本経済史研究

花井俊介 先生

### ■ 研究テーマ

近現代日本の経済発展に関するマクロ的な分析や日本における企業システムの形成過程に関するミクロ的な分析などを中心に研究を行っています。

### ■ 活動内容

3年春学期に経済史・経済学の基礎を勉強し、夏合宿を経て、

秋学期にはテーマ研究を通じて実際の分析手法を身につけます。これと並行して各自の研究テーマを徐々に絞り込みます。ゼミの最終目標は各自のテーマについて、ある程度の長さを持ち、必ず1つ以上のオリジナルな論点を含む論文にまとめあげることです。4年のゼミは、ゼ

ミ生相互の議論によって修正を繰り返しながら、この論文を仕上げることに充てられます。

### ■ 新ゼミ生へ

オリジナリティのある論文を作成するのは、決して楽なことではありません。ですから、ゼミ生にはいい加減な議論でごまかさず、解決策を得るまで真剣

に努力を続けることが必要とされます。厳しさと楽しさを両立できる学生の参加を待っています。

人数：3年生10人、4年生7人 執筆：花井俊介先生

● 経営トラック

● 会計トラック

● マーケティング・国際ビジネストラック

● 金融・保険トラック

● 経済トラック

● 産業トラック

● 経営トラック

## 国際経済関係研究

池尾 愛子 先生



### ■ 研究テーマ

人類の活動を根底から支える、化石燃料や再生可能エネルギーのよ  
うなエネルギー源に関して、幅広  
い観点から研究するゼミです。活  
動の中では、エネルギーと強い相  
関がある世界情勢や国際経済の動  
向について学ぶこともできます。

### ■ 活動内容

3年前期では、資源エネルギー庁の『エネルギー白書』をはじめとした

様々な資料や文献を用いて、国内外  
のエネルギー動向に関して前提知識  
を得ます。その後、夏休みの合宿や  
後期ゼミではグループワークを行  
い、発展的な議論、発表を行うこと  
を目標に活動します。また、発表内  
では逐次教授から内容の補足やアド  
バイスがいただけるため、理解をさ  
らに深めることが可能です。

### ■ 新ゼミ生へ

日本は、極めて低いエネルギー自給

率の上に成り立っています。今後、  
こうした構造を変革していくのは  
まさに私たちの世代です。また、近  
年、SDGsなど環境意識の高まりか  
ら、エネルギー分野は注目を集めて  
います。このゼミに参加すること  
で、前述したような社会課題に対す  
る理解を深め、自分自身の考えをも  
つ一助になると考えます。皆さんも  
ぜひ、エネルギーの観点から国際経  
済関係を研究してみませんか？

人数：3年生16人、4年生12人（うち2人は海外インターン・留学中） 執筆：武井学陽

● 会計トラック

## Economic and Business History: Global Perspectives



矢後 和彦 先生



This zemi course deals  
with history of economy  
and business from global  
perspectives. Students learn  
how to handle the archival  
records of international  
institutions and/or global  
firms, how to frame their  
questions and replies on

history, and how to apply  
their historical knowledge.

You are required to read  
numbers and records in  
history, but no technical  
knowledge is necessary:  
we historians are the  
generalists. Only thing I ask

the students to do in this  
zemi is to "enjoy": just feel  
free to read history, jump  
into the international forum,  
and enjoy tackling the  
global issues in front of you.

人数：3年生17人、4年生8人 執筆：Kazuhiko YAGO

● マーケティング・国際ビジネスストラック

## 雇用労働研究

小倉 一哉 先生

### ■ 研究テーマ

働く人の約9割は、「雇われて」働  
いています。そのような人々を雇  
用労働者と言います。「雇用労働研  
究」とは、雇われて働く人の様々  
な問題を考えることを意味してい  
ます。就職活動・インターンシップ、  
アルバイトのトラブル、働き方改  
革・過労死、同一労働同一賃金、ジョ  
ブ型雇用、AIと雇用、副業・兼業、

障がい者雇用など、様々な問題が  
ある今日、ゼミを通じて主体的に  
学ぶことを、目的としています。

### ■ 活動内容

3～4人を1つのチームとして、半  
期ごとにチームを入れ替え、グル  
ープ研究をして、期末に研究発表を  
します。各チームは、研究テーマ  
を相談し、関連する文献サーベイ  
を行い、関係者へのインタビュー

調査を実施し、最後にプレゼン資  
料を作成して、発表します。テー  
マによっては、インタビューを依  
頼する人や会社が複数になり、ま  
た、遠方へ出かけることもありま  
すが、自ら企画しフィールドワー  
クをすることは、ゼミ生の実行力  
を育み、とても良い社会勉強になっ  
ています。

### ■ 新ゼミ生へ

3年生はサブゼミが1コマあります  
が、部活動などと両立できるよう  
に、その他の時間をゼミ活動で使  
うことは基本的にありません。た  
だし、その分、積極的にゼミ活動  
に取り組みないと、仲間にも迷惑  
をかけます。「ゆるさ」だけを求め  
て来る人は、遠慮して下さい。

人数：3年生16人、4年生16人 執筆：小倉一哉先生

● 金融・保険トラック

● 経済トラック

## イノベーション研究

清水 洋 先生



### ■ 研究テーマ

イノベーションを企業の競争戦略  
や組織構造、産業組織の観点から  
歴史的に分析しています。大きく  
は、(1) イノベーションにはどの  
ようなパターンがあるのか、(2)  
イノベーションのパターンに影響  
を与えるのはどのような要因があ  
るのか、(3) 企業はイノベーショ  
ンのパターンをどのように戦略的  
に活用できるのかの3点を中心

分析をしています。

### ■ 活動内容

ケースや論文、書籍などを読むと  
ともに、実際に分析や提案を行っ  
ていきます。とにかく巨人の肩に  
のぼります。OB,OGとのコミュニ  
ティも大切にしています。

### ■ 新ゼミ生へ

2019年から開講した新しいゼミ  
です。これからのようなゼミに  
なっていくのか楽しみです。やる

ことは多いとは思いますが、それ  
だけ得るものも多いはず。案  
をしたい人はぜひ遠慮してくださ  
い。せっかく大学にきたのだから、  
ゼミに入って勉強した方がいいよ。  
できるだけ濃い議論をと思ってい  
るので、人数は8～10人程度と  
絞っています。

<https://sites.google.com/site/hiroshimizu529/introduction>

人数：3年生10人、4年生10人 執筆：清水洋先生

● 産業トラック

### ■ 研究テーマ

ゼミでは、(1) 実証分析手法の習得、(2) 企業行動とマクロ経済を対象とした経済学的ツールの習得、を目標として、輪読(担当箇所のレジュメ作成・プレゼン・質疑)やデータ分析を内容とする演習を行います。

### ■ 活動内容

3年次のゼミでは、因果推論を中心とする実証分析手法についてRとSTATAを使って学ぶと共に、企業の参入・退出、投資、資金調達などの企業ダイナミクスに関する基本的な理論モデルについて指定の教科書を参照しながら学びます。生産関数の推

定とマクロモデルの取り扱いについても学びます。並行して各自の研究テーマの選定を進め、4年時における卒業論文の執筆に向けた準備を進めます。4年次のゼミでは、卒業論文プロジェクトに注力します。

### ■ 新ゼミ生へ

実証手法と経済学の理論に基づ

いた考え方のフレームワークを習得することで、ミクロ・マクロレベルのダイナミクスに関係する幅広いテーマを取り扱うことができるようになります。将来のキャリア形成において分析的な仕事(注: 学術研究に限りません)を志向する学生を歓迎します。

人数: 3年生9人 執筆者: 宮川大介先生

● 経営トピック

● 会計トピック

● マーケティング・国際ビジネストピック

● 金融・保険トピック

● 経済トピック

● 産業トピック

# 2023年度 早稲田商学学生懸賞論文 入賞論文

2023年度の「早稲田商学学生懸賞論文」では、大学院生の部と学部学生の部にあわせて34篇の応募がありました。1つの論文につき2名の先生方による一次審査とその結果をふまえた合同審査会での厳正なる審査の結果、下記の方々が入賞しました。

## ■大学院生の部

**最優秀論文賞** 須藤 俊 「無観客試合がホームアドバンテージに及ぼす因果効果」

## ■学部学生の部

**最優秀論文賞** 春原 雅之、石井 美帆、石井 悠毅、Qiao Hongming 「くじに起因する不平等」

**優秀論文賞** 鈴木 涼祐、高山 大貴、QIN ZUOTAO、土井 晴加、松本 ゆり子  
「独立社外取締役が企業のリスクテイクに与える影響」

相澤 孝祐、Liu Sizhe、牧野 創、坂間 理彩、梅原 慎一郎  
「Policy Responses to COVID-19 Pandemic and Healthcare Access: Evidence from Mobile Tracking Data in Japan」

川野 孝誠、土屋 舞緒、林 遼哉  
「政府助成金の獲得がイノベーションを媒介して投資家からの資金調達に与える間接的な効果」

大西 一樹 「Do institutional investors enhance family firms' value?」

児玉 芳武、北山 天紀、坂元 晃大、田中 悠斗、ヤン ユンクアン 「節電キャンペーンの副作用」

**佳 作** 元田 就士、柳 千晴、山口 宙、山口 真由 「コングロマリット型M&Aが日本企業の企業価値に与える影響」

根岸 奈愛、中村 涼楓 「研究開発型スタートアップにおけるアイデンティティの形成プロセス」

浅井 菜々子、春日井 明夢、近藤 はるな、守下 真里子、森久 和音  
「GVCにおける産業の高度化が賃金に与える影響」

奥秋 智司、小牧 優衣、小森 彩乃、佐藤 祐斉、長澤 桜生 「インドネシアの貧困にICTが与える影響」

小暮 悠 「推しも知らない推し活の波及効果」

佐々木 敦志 「適切な人材配置戦略がデジタル化効果に与える影響」

榑崎 香織、大久保 有彩、大谷 哲平 「国際観光需要の決定因」

菊地 達仁、田邊 凌、林 康仁、藪内 藤矢 「取締役会の多様性と企業価値の関係」

※ 各賞入賞論文は応募受付順に並んでいます。

## 早稲田商学学生懸賞論文応募のお誘い

早稲田商学学生懸賞論文は、学生の皆さんの学業面における成果である優秀な論文を表彰するとともに、その成果を内外に知らしめることを目的として、早稲田商学同攻会が運営しています。卒業論文やゼミ論文などの研究成果は、多くの場合ゼミ等の内部でのみ共有されます。しかし、せっかくの成果ですから、多くの人たちに知ってもらうことも大切です。ゼミの先輩や担当教員だけではなく、他の教員から評価を受けることで研究のさらなる深化が達成できたり、研究成果の客観的な評価を得られたりすることにもなります。

審査の結果優秀と認められた論文については、『早稲田商学学生懸賞論文入賞論文

集』に掲載され、商学部の教員や学生に配付されます。また、特に優秀と判定された論文については、その後の査読を経て、教員の研究成果をまとめた論文集である『早稲田商学』または『文化論集』に掲載され、全国各地の大学図書館等に配付されます。また、賞状と副賞(賞金)が授与されるほか、表彰式および祝賀パーティが開催されます。

早稲田商学学生懸賞論文には、すべての商学部生が応募できます。近年では、1・2年生の応募した論文が入賞することも増えています。研究テーマが商学に限定されているわけではないので、自身の興味のあるテーマで論文執筆が可能です。また、個人でもグループでも応募可能です。なお、プ

ロゼミを含むゼミ所属者については、ゼミごとの応募篇数に制限がありますので、ゼミ内で相談してください。

2024年度の詳細なスケジュールについてはまだ確定していませんが、例年1月中旬に応募を受け付け、3月初めに結果発表、3月下旬に表彰式および祝賀パーティという流れになっています。12月ごろに商学部WebページやMyWasedaの「お知らせ」を通じて詳細をお知らせします。

多くの皆さんの応募をお待ちしています。

早稲田商学同攻会編集委員会

大学院生の部

最優秀論文賞

## 無観客試合がホームアドバンテージに及ぼす因果効果



■片山東ゼミ  
須藤 俊

### 執筆動機

今回の懸賞論文は、私が2年の歳月をかけて執筆した修士論文をもとに作成されたものです。私は以前よりスポーツと計量経済学に関心があり、指導教授である片山東教授が勧めてくださったスポーツ経済系のジャーナルを読んでいました。その過程で、観客の応援の影響を分析した論文と巡り合い、そのアイデアに惹かれました。さらに、私がこれまで主に観戦という形でスポーツと関わってきたことも相まって、スポーツにおける観客についての分析に興味が高まりました。そこで、修士論文では、コロナ禍で生じた無観客試合の実施と

いうプロスポーツの特殊な状況に着目し、観客の有無の効果の推定に取り組むことにしました。

### 論文の内容

論文では、無観客試合の実施がホームアドバンテージに与える効果を推定しました。多くの先行研究が抱えていた識別問題を解決するために、同時期に有観客試合と無観客試合を実施した日本のプロスポーツの状況を識別戦略として自然実験を行いました。この状況を利用したDID分析と媒介変数分析の結果から、プロ野球では観客の応援がなくなるとホームチームの選手のパフォーマンスの低下を通じてホームチームの勝率が下がる一方、J1リーグとJ2リーグ、B1リーグでは処置効果があるとはいえないことが示唆されました。

### 執筆にあたってのエピソード

今回の懸賞論文作成の作業の大部分は、定められた懸賞論文のフォーマットに合わせて私の修士論文を書き換えるというものでした。

この作業が思いのほかスムーズに進まず、論文に掲載する内容の取捨選択や過不足なく正確に情報を読者に伝える端的な文章の作成に四苦八苦しました。しかし、片山先生をはじめ、ゼミの先輩や同級生・後輩から貴重なアドバイスをいただいたおかげで、無事に完成に至りました。特に、片山先生には論文のテーマ設定からデータの分析、論文の執筆に至るまでの全ての段階において、2年間に渡り大変多くのご指導を賜りました。修士課程2年の秋学期に毎週のように片山先生と一対一で論文執筆についての議論を交わした日々はとりわけ思い出深いです。心より感謝申し上げます。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

今回の論文執筆を通じて、自律性を培うとともに、多くの方々のご助力のもと試行錯誤を繰り返して1つの作品を完成させるという貴重な経験を積みました。ぜひこの懸賞論文作成に挑戦し、満足のいくものを得ていただきたいです。応援しています。頑張ってください。

最優秀論文賞

## くじに起因する不平等



■片山東ゼミ グループ4名  
春原 雅之、石井 美帆、  
石井 悠毅、Qiao Hongming

### 執筆動機

「公正であるはずの選挙に潜む不平等を解消したくて」……と言えばよかったのですが、全くそんな意図はなく、偶然の産物でした。論文のテーマを探すなか、たまたま区議会議員選挙があり、「有権者としてちゃんと候補者を評価して投票しなければ」という精神性と、「でも人数多過ぎて面倒」という心理の衝突の結果、選挙公報のオモテ面のみしっかり見て

投票する、という行動をとりました。その際、他の人にも同様の葛藤と行動があるのではないか、という気づきが、本研究の発端です。

### 論文の内容

くじによってランダムに決められた選挙公報における候補者の掲載順序が、選挙結果に与える影響を推定しました。分析の結果、選挙公報のオモテ面に掲載された候補者は、ウチ面に掲載された候補者よりも当選確率が高くなることと、同一ページ内では中央や右側に掲載された候補者の方が得票率が高くなることが示されました。さらに、高度なモデルを用いたシミュレーションを行って、実際の選挙結果と反実仮想的な選挙結果を比較したところ、全体の54.7%の選挙において当落の変化が確認されました。これらの結果は、くじにより選挙結果に無視できない大きさの不平等が生じていることを示唆しています。

### 執筆にあたってのエピソード

国会図書館に通い詰め、それでもデータが集まらない選挙回については各区役所に出向

いてデータセットを構築しました。情報をひたすらデジタルに落とし込む作業を経て、いざ分析・執筆を始めると、教室に残って作業して毎週のように警備員の方に追い出される常習犯となりましたが、そのうちスルーされる(していただける)ようになっていました。研究に取り組んだこの一年は、忘れたくない濃密な期間です。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

これを読んでくださった皆さん(特に1、2年生)の中に、この論文の内容を完全に理解できた人はほとんどいないのではないのでしょうか。かく言う私たちも研究を始めるまでは皆様と同じスタートラインに立っていました。そもそも何について研究するかを考えるとこから始まり、データの取得法、分析の手法、執筆の作法などを試行錯誤してここまで来ました。ですからどうか、不安がらずに研究の世界へいらしてください。きっと、皆さんの視野や考え方を広げる体験ができるでしょうから。

## 優秀論文賞 独立社外取締役が企業のリスクテイクに与える影響



■ 広田 真一ゼミ グループ5名  
鈴木 涼祐、高山 大貴、  
QIN ZUOTAO、土井 晴加、  
松本 ゆり子

### 執筆動機

広田ゼミでは毎年3年生がチームに分かれて懸賞論文を執筆しています。広田ゼミではこれまでも先輩方が論文を執筆し、数多くの賞を受賞しています。そこで、私達も先輩方と同じように社会的意義のある発見をすべく、論文執筆に着手しました。

### 論文の内容

近年、コーポレートガバナンスの重要性が高まる中で、独立社外取締役の存在に注目が集まっています。独立社外取締役は、経営陣を監督する役割を担っていますが、その役割の一つとして経営陣の適切なリスクテイクをサポートすることが挙げられます。そして、私たちは、独立社外取締役が企業のリスクテイク

に与える影響は、各国の国民性によって異なるのではないかと考えました。国民性の中でも、私たちは各国のリスク選好の違いに注目し、リスク愛好的な国では独立社外取締役が企業のリスクテイクに負の影響を、リスク回避的な国では企業のリスクテイクに正の影響を与えているのではないかとこの仮説を立て、実証分析を行いました。

実際に分析を行った結果、リスク愛好的な国とリスク回避的な国の間で独立社外取締役の企業のリスクテイクに対する影響が有意に異なり、その影響がリスク愛好的国では負、リスク回避国では正であることを明らかにすることができました。また、この結果は、リスクに関する経営者の意思決定を監督するという独立社外取締役の役割が、ある特定の地域に限られたものではなく、世界全体に通用する普遍的なものであることを示唆するものであるといえます。これは、独立社外取締役比率を上昇させようとしている、日本や諸外国の政策的潮流を支持する実証的なエビデンスとなるといえます。また、独立社外取締役の企業のリスクテイクに対する影響を分析した先行研究では、R&D投資やM&Aなどの特定の投資行動を企業のリスクテイクの代理変数としていましたが、私たちはROA・ROEという収益性指標のばらつきを企業のリスクテイクの代理変数とすることで、特定の投資行動のみならず、投資活動全般に関わる企業のリスクテイクに対する独立社外取締役の影響を明らかにしました。

### 執筆にあたってのエピソード

私達は、テーマの決定や仮説の導出はもとより、データの分析方法やその処理にも多くの時間をかけて論文を執筆しました。データ取得のために商学部研究図書館に足繫く通ったことや、チームの仲間と議論を重ねてきたことは、私達を成長させてくれた良い経験となっています。論文執筆にあたり大変なことも数多くありましたが、最終的に論文を書き上げることができたのは、チーム全員で最後まで協力し合うことができたからだと考えています。

最後になりますが、論文執筆にあたりご指導くださった先生方、先輩方、そして支えてくださったすべての方々はこの場を借りて感謝申し上げます。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

「本当に自分は論文を書くことができるのだろうか?」。初めて論文を書く大学生なら、誰もがこのように感じるのではないのでしょうか。しかし、論文は一人で書くものではありません。私たちは論文執筆にあたり数多くの方から助言をいただききました。論文を執筆する際にはぜひ先生方や先輩方、友人たちを頼って下さい。数多くの先行研究も、論文執筆のヒントをくれるでしょう。長い道のりではありませんが、周囲の力を借りながら、自分なりに考え抜くことで、論文を書き上げることができると思います。

## 優秀論文賞

### Policy Responses to COVID-19 Pandemic and Healthcare Access: Evidence from Mobile Tracking Data in Japan



■ Rong Fuゼミ グループ5名  
相澤 孝祐、Liu Sizhe、牧野 創、  
坂間 理彩、梅原 慎一郎

#### 執筆動機

富蓉ゼミでは計量経済学を中心とした実証分析の研究を行っています。従来の教科書の学習や個別の調査とプレゼンに代わり、私たちのゼミでは3年生と4年生が共同で懸賞論文に取り組み、実際のデータを活用して分析し、最終的に論文をまとめることで、計量的な分析手法やディスカッションのスキルを身につける取り組みを行っています。今回の論文執筆もその一環です。

#### 論文の内容

本研究では、コロナパンデミック中の日本における緊急事態宣言および蔓延防止政策が医療利用に与える影響を調査しています。これらの政策を実施する背景での人々の医療機関への訪問パターンをモバイル空間統計データを用いて固定効果モデルで分析しています。研究結果としては緊急事態宣言が平日や特定の人口集団において、特に男性や若年層で著しい医療機関への訪問減少と関連していることを示しています。一方、蔓延防止政策は医療機関へのアクセスに統計的に有意な影響を示さないことが明らかになりました。この研究は、公共政策と社会的行動の複雑な相互作用を強調し、人口統計の変動性と変化する日常生活を考慮した微妙なアプローチの必要性を示しています。我々の結果は、緊急時の政策が医療システムに与えるより広範な影響を理解するのに貢献し、医療危機時の医療アクセスの効果的な戦略立案に示唆を提供しています。

#### 執筆にあたってのエピソード

論文作成において最も困難だったのはデー

タの整理でした。今回使用したモバイル空間統計データは特殊なメッシュコードに基づいており、他の地域のデータと統合するためにはメッシュコードと市区町村コードの対応が必要でした。そのため、使えるデータセットを準備するには3カ月間の作業が必要でした。データ整理にはみんなが苦労しましたが、これにより先行研究に使用されていないデータセットを使用し、新しい視点や結論に至ることができました。

#### 後輩の皆さんへのメッセージ

今回の論文執筆を通じて、データは良い分析の土台であることを再認識しました。研究においては、必ず何のためにどんなデータが必要かを明確にし、それに基づいてデータ収集を行うことが不可欠です。適切なデータがなければ、妥当な結論や有益な洞察を得ることは難しいでしょう。従って、研究計画を立てる段階からデータの選定と収集方法に十分な注意を払い、そのデータを適切に解釈するためのフレームワークを構築することが重要です。

## 優秀論文賞

### Do institutional investors enhance family firms' value?



■ 広田真一ゼミ  
大西 一樹

#### 執筆動機

私は商学部のGlobal Management Program (GMP)のゼミに所属しており、4年生には英語で卒業論文を執筆することになっていました。そこで、大学生活でのこれまでの学びを英語で論文にまとめるにあたって、昨年も応募した懸賞論文への応募を決めました。

#### 論文の内容

論文では、ファミリー企業に対して機関投資家がどのような影響をもたらしているかを定量的に分析しました。ファミリー企業は、

創業者一族が会社経営に対して力を持つことが多いため、ファミリーによる私的な行動が会社の損失につながるという独自の問題が指摘されてきました。そしてこの問題を抑制することを期待されているのが、多くの株式を保有し企業に影響力を持つ機関投資家です。分析の結果、機関投資家による株式の保有がファミリー企業の企業価値に正の影響を与えていることが分かりました。その中でも、長期的な視点を持つ機関投資家はより正の影響が大きく、コーポレートガバナンスの向上に大きく貢献していることが分かりました。

#### 執筆にあたってのエピソード

英語で論文を執筆することが初めてであったため、どのような英単語やフレーズがアカデミックな文章において適切なかを掴むまでが大変でした。そのため、頭で思い浮かべている内容を文章に落とし込むことに苦労しました。しかし、アカデミックな文章を英語で執筆する方法を学ぶ授業やGMPの授業で培った

学びを振り返りながら、一つ一つ文章を書き進めました。結果として、ビジネスの場面でも役立つような単語力と文章力を身につけることができたのは大きな副産物でした。また論文において重要な、文章の流れや分かりやすさに関しては、昨年さらさら積み上げた知識のおかげで、伝えたい部分が明確にできたと感じています。これらは全て先生方の教えのおかげです。心より感謝申し上げます。

#### 後輩の皆さんへのメッセージ

懸賞論文に応募することは、自分の論文のクオリティを追求するべく最後までやり抜く力が身に付く極めて貴重な体験であると考えています。私自身、懸賞論文に応募することを決めていなければ、途中で妥協して中途半端な論文を提出することになっていたと思います。妥協せずに取り組んだからこそ、先行研究から新しい考えを導く論理的思考力や創造力を養うことができ、今後の糧になる経験にすることができました。

## 優秀論文賞 節電キャンペーンの副作用



■片山東ゼミ グループ5名  
児玉 芳武、北山 天紀、坂元 晃大、  
田中 悠斗、ヤン ユンクアン

### 執筆動機

我々が節電と交通事故の関係を調べようと思いついたのは、『Energy saving may kill』という先行研究がきっかけでした。この論文は、節電キャンペーンによって人々が気温の変化に対して脆弱になり、熱中症等で死亡者が増えることと主張しました。我々は節電が気温の効果を強めることに着目し、気温が与える影響について考えました。先行研究を調べ、色々な案を出した中で選んだのが気温と

交通事故の関係でした。見づらい関係に興味深い内容だと思い、これを研究テーマとしました。

### 論文の内容

先に述べた通り、本論文は節電キャンペーンと交通事故の予期せぬ関係を明らかにしたものです。これは、節電キャンペーンが気温がもたらす効果を強めることにより生じるものです。気温が高まると交通事故が増えることに関しては各国で多数の研究がされており、科学的事実に基づくものです。我々は日本においてもその関係が成り立つことを分析しました。そして、その気温が与える効果を節電キャンペーンが強めるのかを固定効果モデルを用いて推定しました。果たして結果は統計的に有意であり、節電キャンペーンは気温を介して交通事故を増やすことを示しました。

### 執筆にあたってのエピソード

今回の研究では、国内外の先行研究をたくさん読む必要があったことが非常に印象に残っています。研究をするうえでは当たり前なのかもしれませんが、初めての経験だったため「こ

んなにも骨が折れる作業をしないとイケないのか」と感じたのを覚えています。特に英語で書いてある論文を読み込む際、私は決して英語が得意ではないので多くの時間がかかりました。ただ、数をこなしていく中で要領よく要点をつかむことができるようになっていきました。今考えれば先行研究の分析を全員で丁寧に行ったからこそ今回の論文を完成させられたと思います。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

目標を達成しようとする際、道は決してスムーズではなく、必ず困難に直面します。しかし、そのような困難こそが成長の機会を提供します。仲間と協力し、共通の目標に向かって努力し続けることが大切です。私たちも研究の過程で多くの壁にぶつかりましたが、決してあきらめずに問題を乗り越え、成果を挙げることができました。この経験は、単なる論文の執筆やデータの分析、アカデミックな学問の探求だけに留まらず、チームでの活動や協力の重要性を学ぶ貴重な機会となりました。皆さんの将来にも、この経験が必ず役立つと思うので、是非挑戦してみてください。

## 佳作 コングロマリット型 M&A が日本企業の企業価値に与える影響



■広田真一ゼミ グループ4名  
元田 就士、柳 千晴、  
山口 宙、山口 真由

### 執筆動機

広田ゼミでは前期で学んだ内容をアウトプットするために、毎年3年生がグループで論文を執筆しています。広田ゼミの先輩は例年懸賞論文で入賞をしているため、先輩方の偉業に続こうという想いで取り組みました。私たちのグループはM&Aについて研究をしたかったのですが、中でも日本ではそれほど研究が進んでいないコングロマリット型M&Aに焦点を当て

ることで、意義のある研究になると考えました。

### 論文の内容

本論文では「コングロマリット型M&Aが日本企業の企業価値に与える影響」を、内部資本市場の観点から検証しました。従来の欧米の研究ではコングロマリット型M&Aが企業価値を低下させることが実証的に示されてきました。しかし私たちは、成長機会が限られている企業が更なる成長機会を得るために、既存事業で得た資金を利用して異業種に進出することを投資家がプラスに評価するのではないかと考えました。そこで、企業の特徴によってコングロマリット型M&Aの企業価値に与える影響は異なると予想し、イベントスタディを行いました。その結果、トービンのQが低い企業、そして現金預金比率が高い企業ではCARが高くなることが判明しました。さらにそれらの企業をサンプルとして重回帰分析を行った結果、将来の成長機会が限られており、内部資金に余裕がある企業ほど、CARが高くなることが分かりました。これにより、コングロマリット型M&Aが必ずしも企業価値に負の影響を与えているわけでは

ないという結論を示すことができました。

### 執筆にあたってのエピソード

私たちのグループは意義のある研究を行いたいという想いがとても強かったため、テーマを決めるのにかなり時間がかかりました。その結果、先行研究を読むために徹夜をしたり、マクドナルド早稲田駅前店で終電までイベントスタディを行ったり、年始からオンラインミーティングを行ったことは非常に良い思い出です。そのような状況の中で、論文提出の締め切り直前までご指導いただいた広田先生、片山先生、ゼミの先輩方のお陰で論文を完成させることができました。本当にありがとうございました。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

実証研究の論文を執筆することは非常に大変で、私たちのグループも非常に過酷な経験をしました。ですが、振り返ってみるとグループメンバーとの活動は一生の思い出になると思います。なので、学生生活をより充実させるためにも是非頑張ってください！

## 佳作 研究開発型スタートアップにおけるアイデンティティの形成プロセス



■井上 達彦ゼミ グループ2名  
根岸 奈愛、中村 涼楓

### 執筆動機

私の所属する井上ゼミでは、最後の卒業研究として4年生は懸賞論文入賞を目指して活動しています。そんな井上ゼミは10年以上連続で懸賞論文に入賞しており、昨年は同期が3年生で入賞しました。結果にこだわるゼミだからこそ、4年生としてしっかり結果を出したいと思い、懸賞論文に挑むことにしました。

### 論文の内容

私達は、「研究開発型スタートアップにおける

アイデンティティの形成プロセス」というテーマで研究を行いました。設立して間もないスタートアップにとっては、正当性の獲得が非常に重要で、その手段の一つにアイデンティティがあります。その為、いかに有効なアイデンティティを形成するかがスタートアップにとっては重要であることからこのテーマに着目しました。本研究では、研究開発型スタートアップに焦点を当て、成長段階ごとのアイデンティティ形成の変遷を分析しました。分析にあたり、使用する4社の創業から今までのニュース等の2次情報やインタビューデータをコーディングしました。結果として、「探索型」と「深化型」のアイデンティティ形成のプロセスがあり、事業の特色によって異なる不確実性がアイデンティティの形成プロセスに影響を与えるのではないかと考察しました。

### 執筆にあたってのエピソード

私達は4社の企業を用いた定性研究を行いました。苦労した点はたくさんあるのですが、特にデータの収集とコーディングに苦戦しました。データの収集では、上記にも記したよう

に創業から今までのニュースやプレスリリース、新聞等、あらゆる2次情報を一元にまとめました。これは、多い企業ではスライド100枚を超えて見ても出てくる情報を集めるのは手間がかかりました。分析では、集めた情報を全て手作業でコーディングしました。2人で研究を行っていたことから分担ではなく、1人1人が独立して行い、後に照らし合わせ意見が違う部分は話し合うことをしました。1日中家に籠りコーディングをしたことは大変でした。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

大学生は時間の使い方が自由ですが、学生の最後に「これを学んだ!」といえるものが欲しいと思い井上ゼミでの活動に励みました。その集大成としての懸賞論文でしたが、やって良かった、貴重な経験ができたと思っています。論文を書くにあたって読んだ多くの英語論文、執筆にあたりいかにわかりやすく伝えるかを工夫した構成など、全ての経験が自分を成長させてくれました。ぜひ皆さんも挑戦してみてください。応援しています。

## 佳作 GVC における産業の高度化が賃金に与える影響



■横田 一彦ゼミ グループ5名  
浅井 菜々子、春日井 明夢、  
近藤 はるな、守下 真里子、  
森久 和音

### 執筆動機

私たちの所属する横田ゼミでは、国際貿易について研究しています。ゼミ活動の中で、懸賞論文で入賞することを目指してグループ研究を行うことにしました。

私たちはニュースや最近のトレンドから賃金を軸にしたテーマを選定することにし、賃金と結びつきの強い、グローバル市場における分業による各国の結びつきに着目しました。

特に産業の高度化と賃金についての先行論文に興味を持ち、より様々な視点から仮説を立てることで本研究に辿り着きました。

### 論文の内容

「グローバル・バリューチェーンにおける産業の高度化が賃金に与える影響」について、産業別および経済変動下の賃金変化に着目して研究しました。

国際的な分業が進みグローバル・バリューチェーン（以下GVC）が拡大する中で、生産工程がより上流へ特化していくことを産業の高度化と定義しています。このGVCにおける高度化の指標を用いて、OECD から取得した45か国25年間のパネルデータを分析した結果、GVC下における上流への特化は第二次産業、第三次産業においては賃金を上昇させる一方、第一次産業においては賃金を低下させることが分かりました。また、不況下においては第二次産業では賃金上昇率を下げ、第三次産業では賃金上昇率を上げることが明らかになりました。

### 執筆にあたってのエピソード

研究の中でも、特にデータの収集・分析段

階において非常に苦労しました。途中で膨大なデータを1から作成し直したり、なかなか有意な結果をだすことができず頓挫しかけたりすることもありました。そんな中でも、横田先生やゼミの先輩方、社会人の先輩方までたくさんアドバイスを頂いたことで、無事論文を完成することができました。この場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました!

### 後輩の皆さんへのメッセージ

論文の完成には時間がかかり大変でしたが、メンバーと協力することで何とか完成させることが出来ました。この経験を通して、グループの力の大きさを実感しました。データ分析が得意なメンバーもいれば、数学的感性からモデル式を考えることが得意なメンバーもあり、自分が苦手な領域においてメンバーが助け合い力を合わせることで、自分一人ではできないことを達成することが出来ました。

懸賞論文に取り組むことは大変ですけれども、それは確かですが、それ以上に得るものがとても大きかったです。是非、トライしてみてください。

## 佳作 インドネシアの貧困に ICT が与える影響



■横田 一彦ゼミ グループ5名  
奥秋 智司、小牧 優衣、小森 彩乃、  
佐藤 祐斉、長澤 桜生

### 執筆動機

横田ゼミでは毎年海外研修が行われており、私たちは発展途上国であるインドネシアの経済や産業を学ぶために9日間のインドネシア研修へ行きました。その際に貧富の差を真の当たりなし、貧困改善を一つの大きなテーマとして研究を進めることに決めました。産業構造やインフラなど様々な要因を挙げていく中で、2017年からインドネシアで「100 Smart

Cities」計画が行われていると知り、私たちは特にICTが貧困改善へもたらす影響に目を付けました。また、ICTと貧困の関係性を示した論文の中では、ICTの導入による貧困改善効果を都市部と農村部のそれぞれで分析・比較した論文は無いため、本研究を行うことで先行研究では得られない画期的な研究結果を得られると考えました。

### 論文の内容

ICTの普及が発展途上国であるインドネシアの貧困にどう影響するかについて研究しました。今回の研究では、インドネシア32州をそれぞれ都市と農村に分けた2009-2022年の14年分のパネルデータを作成し、インターネット利用率のデータを用いて回帰分析を行いました。結論として、ICT普及率の上昇が貧困率を改善するという結果が得られ、インターネット利用率はラグをとるにつれて貧困改善への効果が大きくなること分かりました。また、都市と比較して農村ではICTが貧困に与える影響が相対的に大きいことも明らかになりました。

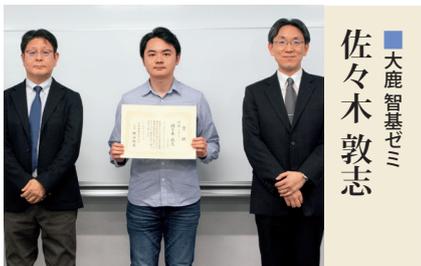
### 執筆にあたってのエピソード

研究対象の国を発展途上国に設定したことで、データの収集には大変苦戦しました。時にはデータ不足から研究の方向性を大幅に変えなければいけないこともあり、常に時間に追われていたと思います。ただ、何度もインドネシア語で書かれた文書を集めていくうちに、次第に日本語で翻訳せずとも、頻出の単語の意味を理解できるようになったメンバーもあり、データ収集の効率は次第に上がっていききました。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

論文の執筆は壁にぶつかるとの連続です。私たちも幾度となく諦めそうになりましたが、先生や先輩方を始めとする周囲の方々の支えがあり、最後までやり遂げることができました。また、仲間と密接に関わり一つの大きな目標を達成することで、これまでになかった絆が生まれるはず。学生時代の今しか経験することのできない素晴らしい体験を、皆さんも是非味わってみてください。

## 佳作 適切な人材配置戦略がデジタル化効果に与える影響



■大鹿智基ゼミ  
佐々木 敦志

### 執筆動機

私が懸賞論文を執筆しようと思った最初の動機は、純粋な好奇心でした。特に「DX(デジタルトランスフォーメーション)の効果」というテーマは、現代の企業戦略において非常に重要な問題であり、私が特に興味を持っている分野です。このテーマを深く掘り下げることで、新しい知見を得たいという思いが強かったです。さらに、この研究を通じて実践的なビジネスの理解を深めることも目指していました。

### 論文の内容

論文の内容としては、DXを実施する際に人員戦略を伴うことで企業価値に与える影響を検証しました。この研究では、重回帰分析を行い、過去七年間のデータに基づいて分析を行いました。その結果、人員戦略を行うほどDXの企業価値に対する効果がさらに向上することを立証することができました。

### 執筆にあたってのエピソード

執筆過程ではいくつかの困難に直面しました。特に、DXに関連する非財務情報の収集は非常に困難でした。企業が公表する情報の多くは財務情報を中心であり、私が必要としていた非財務情報はなかなか手に入らず、多くの時間と労力を要しました。さらに、回帰モデルを構築する過程での統計的な課題も大きな挑戦でした。特に、モデルの偏りを減らすための方法や、サンプルセレクションバイア

スを避けるための戦略に頭を悩ませたことは数知れません。これらの統計的な問題を完全に解決することは結局できず、大きな心残りとなっています。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

後輩たちへのメッセージとしては、「自分の本当に興味がある分野でなければ、研究に没頭することは難しい」ということを伝えたいです。研究テーマを選ぶ際には、やりやすさだけでなく、本当に心から興味を持てる分野を選ぶことが重要です。それが、長期間にわたる研究活動を継続するための鍵となるでしょう。興味のある分野について研究するのは結構楽しいです。そのような研究に出会えると、面倒な作業や仮説を考える時間も意外と苦痛じゃなくなってきます。そのようなワクワクする研究テーマに皆さんも出会えることを祈っております。

## 佳作 国際観光需要の決定因



■横田 一彦ゼミ グループ3名  
 栢崎 香織、大久保 有彩、  
 大谷 哲平

### 執筆動機

私たちが所属する横田ゼミは、国際貿易について研究を行っているゼミです。毎年3年生がグループ研究を行い、懸賞論文での入賞を目指しています。

私たちのグループでは、国際観光に焦点を当てた研究を行いました。コロナ禍が明け、再び観光が成長産業として注目されているこ

とから、その需要の決定因を実証分析することの意義を感じ、本研究を行いました。

### 論文の内容

国際観光に影響を与える要因の中でもテロ、世界遺産、汚職に着目し、200の国と地域のデータを基に研究を行いました。先行研究の多くは固定効果モデルを用いた分析が主流でした。しかしより正確な研究結果を導き出すために、本研究では構造グラビティモデルも使用し、様々なモデルで実証分析を行うことでこれまでの研究との差別化を図りました。結果的に、テロや世界遺産の数は観光産業輸出額に影響を与えることはなく、旅行先国の政治健全度のみが正の影響を与えるという結果を明らかにしました。

### 執筆にあたってのエピソード

より正確な研究結果を導き出すため、200か国6年39,800ペアのパネルデータを用いたのですが、そのデータを集めるのに膨大な時間を要しました。エクセルシートにひたすらデータ

ータをコピーし続けた、あの魔の時間は忘れられません。人数が少ない中、締め切りギリギリまで推敲を重ね、無事に提出を終えられた経験は今となってはいい思い出です。

最後に、なかなか有意な結果が出ない中でもより良い方法を一緒に考えてくださった横田先生や、たくさんのアドバイスをくださったゼミの先輩方に、この場を借りてお礼を申し上げます。改めて本当にありがとうございました！

### 後輩の皆さんへのメッセージ

論文を執筆するうえで、様々な困難に直面することもあるかと思います。実際、私たちもそうでしたが第一に言えることは計画的に研究を進め、論文を書き上げることが何よりも大切だということです。締め切り当日まで執筆することで、先生や先輩方に多大なる迷惑をかけないようにしましょう。ゆとりを持った研究が、有意義な結果を産み出します。

この研究期間を経て、仲間と共に一つの目標に向かって努力することの素晴らしさを感じる事が出来ました。皆さんもぜひ挑戦してみてください。

## 佳作 取締役会の多様性と企業価値の関係



■宮島 英昭ゼミ グループ4名  
 菊地 達仁、田邊 凌、  
 林 康仁、藪内 藤矢

### 執筆動機

企業において、ガバナンスの強化と企業価値の向上がどのように関係しているのか興味を持ち、テーマを設定しました。ガバナンスを強化するということは、経営における制約を増やすことであるといえるため、先述の2つの要素は両立が困難なのではないかと考えていました。しかし、もしこの両者が両立していることを示すことができれば、近年機運が高まっているガバナンス改革をより一層推し進

めることができるのではないかと思います、分析を試みました。

### 論文の内容

取締役の年齢や性別などといった多様性の指標が上昇すると、それに応じてROAやトピーンのQといった指標がどのように変化するのが、重回帰分析を用いて定量的に分析しました。分析では日経225とTOPIXSmallをそれぞれ分析対象とし、企業規模による影響の差異についても考察しました。分析の結果、各人が持つ経験やスキルといったタスク型のダイバーシティが豊かであるほど、ROAやトピーンのQが上昇する傾向にあることがわかりました。またガバナンス改革の転機となった2015年のコーポレートガバナンスコードの制定前後で、両指標の関係がどのように変化したかについても差分の差分法(DID)を用いて分析しました。

### 執筆にあたってのエピソード

それぞれの指標や変数についての定義を明確にすることに非常に苦慮しました。「専門家」とはどのような経歴を持つ人のことを指すか、「ばらつきが大きい」とはどのくらいの数値を

超えたものなのかといったものについて、いかに説得力のある根拠を持って定義づけることができるか時間をかけて考えました。

また、DIDによる分析を行った際に思うような結果が得られず、変数を何度も調整しました。執筆終盤は提出締切の最終日まで常に時間との戦いでしたが、先生方や院生の方々に手厚くサポートして頂いたおかげで無事書き上げることができました。本当にありがとうございました。

### 後輩の皆さんへのメッセージ

余裕のあるスケジュールを立てることが何よりも重要だと思いました。私たちの論文は年末年始の頃まではとても懸賞論文に出せるようなクオリティではなく、最後の数日間にはほぼフル稼働してやっとのことで完成させることができました。一度完成したと思っても修正点は無限に出てくるので、担当教員の方にチェックしてもらうタイミングを何度も設定しておくのもポイントだと思います。執筆はとても大変ですが、最終版を提出した時の達成感はなくも味わえるものではありません！後輩の皆さんも頑張ってください！

## 幅広い情報を活用するために

### データベースの検索の仕方



卒業論文やレポートを執筆する際には、先行研究や、企業のデータなど幅広い情

報を収集しなければなりません。早稲田大学では、たくさんの有益なデータベースが利用できることをご存知でしょうか。大学ホームページの「データ集」から「学術情報検索」(<https://waseda-jp.libguides.com/imas>)をクリックしてください。「WINE」では、早稲田大学図書館の所蔵資料や電子資料を検索できます。「データベースを探す」では、大学が契約している

データベースやツールを探すことができます。まずは、「おすすめのデータベース」から選択して、使ってみましょう。以下に、よく使われるデータベースを表にまとめて、ご紹介します。

データベースはルールを守ってご利用ください。学術情報検索>メニュー>「電子資料の利用上の注意」をお読みください。

情報の種類	データベース		
所蔵資料・電子資料	日本語／外国語	WINE	早稲田大学図書館の所蔵資料や電子資料に加え、「論文・記事」の検索もできます。検索結果から大学契約データベースのコンテンツにアクセスできる場合もあります。
論文	日本語	CiNii Research	国内の学術雑誌の論文等の文献検索ツール。機関リポジトリ等の研究データや研究プロジェクト情報などを含めて横断検索することができます。
		早稲田大学リポジトリ	本学の研究者等が作成した学術論文、学位論文、紀要論文、ワーキングペーパー、会議録等の学術情報を保存・公開しています。
雑誌・新聞記事	日本語	日経テレコン 21	日本経済新聞社が提供する記事、企業、人事情報の検索と閲覧ができます。
		経葉デジタルライブラリ	「週刊ダイヤモンド」(1913～2018)、「DIAMONDハーバード・ビジネス・レビュー」(1976～2016)、「週刊エコノミスト」(1960～1979)の全文記事をPDFで閲覧できます。
		日経 BP 記事検索サービス	日経 BP 社が発行する雑誌のバックナンバー記事を閲覧できます。 ※短時間に大量に閲覧しないでください。
		東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー	「週刊東洋経済」「会社四季報」など東洋経済新報社刊行の雑誌・企業情報誌の記事を閲覧できます。
		ジャパンナレッジ Lib	事典や辞書を中心とした総合データベース。「日本統計年鑑」「週刊エコノミスト」「現代用語の基礎知識」ほか、多数のコンテンツを提供しています。
	外国語	EBSCO Business Source Premier	経済・経営・ビジネス関連の書誌データと全文データが含まれています。
		ABI/INFORM Collection	ビジネス・経営・財務・貿易等の関連分野をカバーする全文雑誌・新聞データベースです。
企業情報	日本語	日経バリューサーチ	国内上場全社および非上場企業の情報を含む、企業・業界分析ツールです。
		日経 NEEDS-FinancialQUEST	企業財務、株式・債券、マクロ経済、産業統計などの経済データを検索、ダウンロード可能です。
		eol	日本企業の有価証券報告書の原文データおよび財務諸表などの数値データを含みます。
	外国語	OSIRIS	全世界の上場会社の財務情報を提供する包括的なデータベースです。
		ProQuest Historical Annual Reports	800社以上の北米主要企業の年次報告書(1844～2008)。

## 剽窃に関する注意

すでに出版されている書籍、論文、雑誌などから理論や統計資料などを引用する場合、ルールに則らないと、著作権上の問題が発生する可能性があります。

文化庁のHPによると、引用として認められるためには、(1)他人の著作物を引用する必然性があること、(2)かぎ括弧をつけるなど、自分の著作物と引用部分とが区別され

ていること、(3)自分の著作物と引用する著作物との主従関係が明確であること(自分の著作物が主体)、(4)出所の明示がなされていること、に注意しなくてはなりません。

**本学では、レポート等での不正行為をした場合、委員会にて審議の上、退学または当該科目を含む履修中の全科目の単位を不可(F)とし、無期停学に付されます。**また、

2012年度より教員向けに「レポート類似度判定機能」が導入され、不正なコピー&ペーストがされていないかどうかチェックが可能になりました。レポートの執筆には常に厳粛な態度で臨み、慎重に取り組みましょう。

### ●参考HP

文化庁ホームページ  
(<https://www.bunka.go.jp/index.html>)

## 寄附講座・提携講座等とは

民間企業など大学外部の組織から、寄附された資金や人材をもとに実施される授業です。商学部では日本を代表する企業や、各業界でトップとして活躍しているの方々による「ビジネス界の今」を伝える講座を開講しています。

### デジタルと企業経営 株式会社カインズ寄附講座

専門教育科目2単位 木曜日・2時限目  
コーディネータ：恩蔵 直人 (商学学術院 教授)

**ビ**ジネスの様々な分野で、「価値」をいかにして生み出したらよいかという課題が取り上げられるようになっていきます。製造業者であれば生産活動を通じて価値を生み出すことができますし、流通業者であれば適切な商品を仕入れ、適切な陳列を行うことで価値は生み出せます。しかし近年、そうした製造業者と流通業者という単純な構図では説明しきれない状況が生じています。流通業者が生産活動に足を踏み入れたり、製造業者が流通活動に乗り出したり、さらに製造業者と流通業者が協力

し合い、新しいタイプのビジネス活動で「価値」の共創を試みています。ユーザーを巻き込んだ価値創造も試みられています。

本講座では、流通大手である株式会社カインズの協力のもと、「価値創造のマーケティング」という点で先進的な取り組みをしている企業の経営幹部をお呼びして、マーケティング戦略の視点で講義していただきます。マーケティング論や経営学について学んできた学生諸君は、理論や枠組みが実務においてどのように生かされているのかが理解できます。

### 変化に対応する日本企業 一般財団法人経済広報センター提携講座

専門教育科目2単位 木曜日・3時限目  
コーディネータ：久保 克行 (商学学術院 教授)

**本**講座はオムニバス形式の企業人派遣講座であり、今年度も「変化に対応する日本企業」という科目名で開催されます。日本企業をとりまく環境は、少子高齢化、グローバル化の進展、ICT技術の急速な発展、政府の財政状況の悪化、中東・欧州・東アジア等における経済状況の急変などにより大き

く変化し、旧来のビジネスモデルは修正を余儀なくされています。この講義では、経済の最前線で活躍されているの方々をお招きして、日本企業がこれらの環境変化に対し、どのように対処しているかを直接お話しいたします。真摯かつ熱心な聴講を期待します。

### 起業家養成講座Ⅱ 早稲田大学校友等起業家有志提携講座

専門教育科目2単位 火曜日・5時限目  
コーディネータ：高瀬 浩一 (商学学術院 教授)  
村元 康 (商学学術院 客員教授)

**早**稲田大学校友等起業家有志の協力により実施する起業家志望の学生を対象とした講座で起業家養成講座Ⅰの応用講座です。講義を通じて、事業立案、資金調達、マーケティング、事業運営、IT戦略 等、起業に必要な知識の基礎を学ぶことを目的とします。

具体的には、本学OBの起業家・経営者をゲストスピーカーとして招いた講演によるケース提示とします。発言の機会を設け成績に反映させるインタラクティブな講座です。積極的な履修を望みます。

### サステナブルな社会を創るリース 公益社団法人リース事業協会寄附講座

専門教育科目2単位 火曜日・3時限目  
コーディネータ：新井 剛 (商学学術院 教授)

**わ**が国のリース産業は、企業・官公庁の設備投資に貢献し、グローバルなビジネスとして航空機リースなど世界各国でリース事業を展開しています。

創業間もないベンチャー企業を支援したり、リース事業を基盤として、地域経済の活性化に貢献する事業、再生可能エネルギー

一関連事業など多方面に事業を展開しています。

リースの基本的概念を習得することにとどまらず、企業・官公庁が抱える課題を理解し、その解決策を受講生自らが考察することにより、今後の学生生活で何を学ぶべきか、将来の進路を探る良い機会になると確信します。

## 起業論(文理融合)

グロービス・キャピタル・パートナーズ寄附講座

専門教育科目2単位 水曜日・6時限目

コーディネータ：井上 達彦(商学大学院 教授)  
村元 康(商学大学院 客員教授)

**本** 講座は、商学部で春学期に開講する次の寄附講座を受けて、発展的にアントレプレナーシップや起業およびスタートアップ(ベンチャー)について、初歩から体系的に学ぶ一連のプログラムです。

将来、イノベーションを創出する起業家を目指す学生に必要な学びのひとつとして、理工系と文系の学生たちの連携等があります。例えば、チームを作りながら自身たちの将来のビジョンに向かって勉強や体験を共有しながら、創出していく場が重要です。

本講座は、過去、商学部で長年、開講してきた「起業家養成講座Ⅰ」および「起業家養成講座Ⅱ」の流れを取り入れながら、寄

附者のVC(ベンチャー・キャピタル)の多大なご支援を受けて開講します。

理工系学生は、実験・実習の必修科目の時限帯に「起業家養成講座Ⅰ」および「起業家養成講座Ⅱ」を開講しているため、履修が困難でした。そこで、2024年度から、本寄附講座を水曜日の6時限に開講することにより、科学・技術を学ぶ理工系の学生にも、1、2年生の早い時期から、将来の社会問題解決に向けて、自身のビジョンやパーパスの目的を持ちながら学んでもらうプラットフォームを目指します。

## ファミリービジネス(Succession・Governance・Management)

FBN 寄附講座

専門教育科目2単位 木曜日・4時限目

コーディネータ：梁取 美夫(商学大学院 教授)

**フ** アミリーによって所有・経営されている企業は、世界の企業数の約70%を占め、主要産業国におけるファミリービジネスのGNIに対する貢献度は40～60%とされています。例えば米国では新たな雇用創出の78%がファミリービジネスによるものであると共に59%の雇用、49%の国内生産を生み出しているとの研究があります。日本では約95%の企業がファミリービジネスであり、100年以上続く企業の数では、世界一位の長寿企業大国です。

ファミリービジネスは伝統の継承という制約の中で経営者が各々知の探索と深化により何世代も事業を継続しています。この

ような意味でファミリービジネス研究はある意味、長寿企業の研究でもあります。一方でファミリービジネスには非効率、閉鎖的、小規模、ガバナンスが甘い、といったマイナスの印象や後継者不在問題が大きな課題となっています。

厳しい状況の下で存続、発展をしているファミリービジネス企業はどのような戦略を取っているのか、この授業ではファミリービジネスの経営、ガバナンス、事業承継に関し一般企業とは異なる様々な特徴を学ぶとともに、著名なファミリービジネス経営者の口から直接語られる経営の本質と事例を学ぶ機会を提供します。



## 留学プログラムのご案内

留学プログラムには、大きく分けて全早大生が応募できる大学間協定プログラムと、商学部生のみ応募できる箇所間協定プログラムがあります。ここでは、プログラム等の説明の他に、商学部生による留学体験談をご紹介します。準備段階から現地での生活、授業、仲間・友人作りなどの体験談は、これから留学を考えている皆さんにとって、きっと参考になることでしょう。

### 早稲田大学の派遣留学プログラム

提供元	プログラム名	内容	出願時期 <sup>※</sup>	
			春	秋
留学センター	交換留学プログラム(大学間)	派遣先大学の通常カリキュラムを履修するプログラムです。現地の学生とともに授業を受けるため、比較的高い語学力が求められます。	5月	10月
	ダブルディグリープログラム	海外の名門校に留学し、所定の要件を満たせば、本学を卒業する際に本学の学位と派遣先大学の学位を両方取得することが出来るプログラムです。高度な語学力が求められます。	5月	10月
	CSプログラム	早稲田大学の学生のために開発されたプログラムです。CS-LプログラムとCS-Rプログラムに分かれており、前者は語学力向上のサポートが数多くあるプログラム、後者は留学先大学においてある程度自由に科目を履修できるプログラムになっています。	5月	10月
	短期プログラム	夏季・春季の休暇を利用して留学するプログラムです。長期留学へ向けての力試しとしても利用できます。	5月(夏季)	11月(春季)
商学部	交換留学プログラム(箇所間)	商学部生のみが応募できる交換留学プログラムです。派遣先はビジネス分野で世界トップクラスの大学となっており、派遣先大学の学生と一緒に現地のビジネスについて学ぶことができます。	8月	2月
—	私費留学	早稲田大学の提供するプログラムに希望の留学先がない場合、自分で留学先を探して留学することになります。	大学・プログラムにより異なる	

<sup>※</sup>日程の詳細については、留学センターHPまたは商学部HPをご確認ください。また、今後の状況によって、出願時期が変更となる可能性があります。

### 「留学」に関するQ&A “よくある質問”

#### Q. 留学しても4年間で卒業できますか？

**A.** 留学先で履修した科目を単位認定し、留学期間を在学期間に算入することで4年間で卒業が可能です。留学プログラムや留学先によって、留学期間中の学籍状態や取得可能単位数が異なります。事前に十分調べた上で留学をご検討ください。

#### Q. 単位認定はどのように行われますか？

**A.** 帰国後に各科目のシラバス、成績証明書、アカデミックカレンダー、時間割、単位認定届を提出し、申請してもらいます。各科目の授業内容および授業時間によって科目区分と単位数が決定されます。認定上限単位数は1年間40単位(半期20単位)です<sup>※</sup>。認定単位数は、次のうち最も適切な方法で認定します。  
 ① 1.67ECTS=早稲田1単位 ② 授業時間585分(語学の場合は1,170分)=早稲田1単位 ③ 学修時間(授業+求められる自習時間)45時間=早稲田1単位。

<sup>※</sup>複数の期間で修得した単位を認定した場合、卒業必要単位として算入できる認定単位数の上限を60単位と定めています。そのため、既に単位認定を受けた方については、留学中に修得した単位の認定単位数の上限が異なります。詳細は商学部の手引きを確認してください。

#### Q. 留学してもゼミは履修できますか？

**A.** 2年生の秋学期から留学する場合、書類提出日および選考日に日本にいない可能性が高いです。その場合でもゼミに応募する事は可能ですが、出発前に必ず希望ゼミ教員に選考についてご相談ください。二次・三次選考の応募に関する詳細は事務所に問い合わせください。また、3年生以降の留学で所属ゼミに出席できない場合も事前に担当教員にご相談ください。



## 国際舞台で磨かれた専門知識



■ 商学部3年  
トー カキ

私は2年生の秋学期から1年間、商学部の箇所間留学プログラムを通じて、カナダのトロント大学に交換留学しました。留学を決意した際、私が最も期待していたのは、英語環境でのコミュニケーション能力の向上と、先進的なプログラミング技術およびデータ解析スキルの習得でした。

トロント大学ロットマン商学部では、ビジネスの様々な分野に特化したプログラムを提供しており、学生が自分の興味やキャリアの目標に合わせて学べる環境が整っています。私は「Data Science in Management」を専攻し、この分野での深い知識と技術を身につけることができました。この専攻では、R言語を使用した機械学習、SQLでのデータベース構築と管理、Pythonでのデータ可視化、自然言語処理、そしてビッグデータに関する授業を受けました。これらの技術的なスキルを駆使して、データ駆動型のビ

ジネス決定を行う方法を学びました。また、ビジネス戦略に特化した授業では、実際の企業のケーススタディをもとに、現状分析と改善策を提案するプロジェクトに取り組みました。これにより、理論だけでなく実践的なスキルも身につけることができました。

トロント大学ではグループワークが重要な要素となっています。ほとんどの授業で、プログラミングの課題やプレゼンテーションがグループで行われました。これにより、異文化の学生たちと協力することで、異なる視点を学び、コミュニケーション能力を大いに伸ばすことができました。また、チームでの作業はリーダーシップのスキルも鍛えられ、自分の能力をさらに向上させる良い機会となりました。

学問的な成長だけでなく、課外活動にも積極的に参加しました。特に「Language Exchange」サークルには積極的に参加し、英語

だけでなく、他の言語にも触れる機会を持ちました。サークルでは、毎週異なるテーマでディスカッションを行い、自然と語学力が向上していくのを感じることができました。さらに、ハロウィンやクリスマス、学期末には特別なパーティが開催され、学生たちが一堂に会して楽しむ時間も多かったです。これらのイベントは、留学生活のストレスを解消し、友情を深める素晴らしい機会でした。

このように、トロント大学での1年間は、学問的な面でも、文化的な面でも、人間関係の面でも、私の人生において忘れられない貴重な時間となりました。留学は単に学ぶだけの場ではなく、自己成長の場であり、新たな世界を発見する旅でもあります。私の経験が、これから留学を考えている人々にとって、少しでも参考になれば幸いです。

## チャレンジにあふれた留学



■ 商学部3年  
鎌田 祐輔

私は2年秋学期の1学期間、商学部の箇所間留学プログラムを利用し、フィンランド・ハンケン経済大学に留学しました。同校は首都ヘルシンキにある北欧最古のビジネススクールの1つであり、現地の学生をはじめ、世界各国から留学生が集まります。

私は日本とは全く異なる北欧の経営体制や組織運営を現地で学びたい、世界幸福度ランキング第1位のフィンランドに身を置いてみたい、という2つの理由から同校に留学することを決めました。

大学では主に北欧企業の組織運営と国際マーケティングの授業を履修しました。この2つの授業では講義以外にグループディスカッションやプレゼンテーション、論文や参考資料をもとにした課題があり、それまで英語で専門的な勉強をする機会がなかったため授業開始当初は授業方式の違いや英語での討論・専門的内容の論文読解の難しさに困惑し、授業についていき、自発的に発言することに難しさを感じました。しかし、これから国際社会のよりハイレベル

な世界で活躍したい、限られた留学先での学びを最大限に活用したい、という思いから時間を十分にかけ丁寧に課題に取り組むことでできるだけ多くの知識をインプットし、積極的にディスカッションに参加することで意識的にアウトプットするよう心がけました。また、ほかに地域社会貢献の授業も履修し、自由度の高い授業であったため、グループでの老人施設訪問活動のほかに観光案内を自主的に行ったり、現地の人と文化交流をしたりし、授業を通じて異文化理解をしながら日本の良さを広めました。

さらに、留学生向けのイベントに参加してフィンランド国内の北極圏に行ったり、多くの国の多様な文化や慣習に触れることで自身の見聞を広めたいという思いからフィンランドのほかに6か国へ旅行をしたりしました。主に現地で行きた友達と行くことが多かったのですが、もともと海外で一人旅をしてみたいと考えていたため、イギリスとフランスには一人旅にも挑戦しました。特にフランスの郊外では英語が通じないことも

多く、バスの停留所がわからないときにコミュニケーションが取れなかったのですが、現地の人が何とか意思疎通を図ってくれようとしてくれ、海外での温かみを感じるとともに、一人でもなるようになるという気持ちをもらいました。

留学全体を通して、異なる価値観や文化を享受することの大切さを感じるとともに、自発的に様々なことにチャレンジすることで見えてくる世界があるのだということを実感しました。実際、多くの新しいことに飛び込んだことで自信にもつながり、これは今後社会に出たときにも役立つと信じています。

最後に、留学をするとなると漠然とした不安からためらってしまう方も多いと思いますが、留学を通して何か必ず得られるものがあり、それは今後の人生の選択肢を広げてくれます。商学部の箇所間留学はグローバルな環境で1人の国際人として日々刺激を受けながら学ぶことができます。迷っているならとりあえずチャレンジしてみよう精神で応募してみてください!

## 就職活動を振り返って

私は2023年卒の社会人2年目で、日系大手メーカーで人事として働いています。まずは就職活動の流れについて、私の経験を交えてご紹介できればと思います。

まず一歩目を踏み出したのは2年生の春休みです。就活関連で耳にしたことがあった“SPI”の参考書を買ひ、春休みで1周してみ、Webテストの存在と難易度を把握しました。

その後、本格的に動き出したのは3年生の5月です。この時期から企業の説明会や夏インターンの応募受付が開始します。特に行きたい業界が決まっていなかった私は、とにかく幅広い業界に触れてみようと考え、多種多様な企業の夏インターンに応募しました。

ES作成や面接を受ける中で、自分についてこれまで深く考えてこなかったことに気がきました。回答に納得感や深みを持たせる為に行った自己分析では、自分を幼少期まで振り返ってみたり、周囲の人にどう映っているかを聞いてみたりすることで自己理解が深めることができた良い機会だったなと思います。

10月～2月にかけては、本選考に向けての準備期間でした。早期選考へ参加し、面接という本番での感覚を忘れないようにしつつ、

再度自己分析やWebテストの勉強を行いました。長い目で見た時にこの秋・冬の期間が比較的時間を捻出しやすい時期であるため、このタイミングで志望度の高い企業に対してはOB/OG訪問を行うのも1つだと思います。

2～3月から本選考が本格化します。私は最後まで業界は絞り切らず、各業界で自分に合っていそうと感じる企業に応募しました。

大学の先生、先輩、社会人の方々の話を聞き、自分のやりたいことを実現できそうだと感じた企業に最後は決めました。

こうして振り返ると、数を稼ぎ、経験値を蓄積することを意識して動いた1年間だったのかなと思います。

## 皆さんは選ばれる側と同時に選ぶ側

第一に、就職活動は企業とのマッチングであると感じています。そのため、学生の皆さんは選考を受ける側であると同時に企業を選ぶ側であることは、忘れがちですが改めて認識しておくよと思います。

また、私は選考を受ける上で重要であるのは再現性であると考えます。

何を成し遂げたか、結果の部分に目が行きがちですが、どのような状況下で、どのような行動をとったのか、何を想い行動を起こした



■ 商学部卒  
円谷 颯介

のか、そのような過程や想いの部分は社会人でも学生でも不変的な部分だと思います。

よく面接で聞かれる“ガクチカ”もその点を測っているのではないかと個人的に捉えています。自身と同じ経験をしていない相手に、自分の不変的な強みを入社後も発揮できる可能性を感じさせられるよう、過去の経験を整理し、論理的な伝え方を磨いておくのが大切だと思います。

長々と書きましたが、どのような企業であっても、不合格通知が1通来るだけで不安な気持ちになると思いますし、実際に私もそうでした。

就職活動は長期にわたるので、なかなか難しいですが、一喜一憂せず、周囲と比較をせず、自分のペースを見つけながら取り組めると良いのかなと感じます。

皆さんの学生生活、その先の社会人生活が彩りのあるものになることを祈っております。頑張ってください。

## 就職活動 体験記

### 就職活動を振り返って

私はコンサルティング会社に勤める社会人2年目です。就職活動をしていた際、就職活動が中盤に差し掛かった秋頃に志望業界をコンサルティング業界に変更しました。コンサルティング業界志望の友人には志望企業から内定を頂いている者もいるような状態での志望業界の変更であり、とても焦ったことを覚えています。ここでは、特にかつての私のように志望業界や志望企業がまだ不確定な方に向けて、やってよかった点と反省点を発信させていただきます。

まず、業界を問わず多くの企業にエントリーしたことはやってよかったと感じています。ESを書いたり、面接官と話したり、その業界を志望する学生と触れ合うことでその企業の魅力に気づくこともあれば、業界の魅力を再確認することもありました。特に志望業界や志望企業が未確定なうちに多くの企業にエントリーし、説明会、インターンシップなどに参加したことが直接的にも間接的にも納得できる就職先選びに繋がったように思います。

一方で、もっと早くから人に頼っても良かったのではないかと反省しています。志望業界を変えた際に、強い焦りから就活支援企業、OB/OGの方、大学のキャリアセンターなどの就職を支援してもらえる場所へ助けを求めました。結果、多くの方に助けを求めたことは正しかったと感じています。特にOB/OGの方との面談は企業選び、ES、面接のすべてに良い影響がありました。自分では解決が難しい課題にぶつかった際には、どんな段階であっても助けを求めるべきだったのではないかと今となっては思います。

### 後輩へのメッセージ

先に述べた二点に加えて過度に焦りすぎないようにすることで良い就職活動ができるのではないかと考えております。

私は志望業界が決まらない時や志望業界を変えた時など焦りながら就職活動をしていた期間が長かったです。焦ったことで精一杯就職活動に集中できたことは良かったと思う反面、追い詰められながら就職活動をしたのはもったいなかったとも感じています。就職活

### ■ 商学部卒 子安 結貴

動は普段お話できないような方ともお話できる貴重な機会です。逆質問などの時間に就職活動に必要なお話だけではなくキャリア形成の糧とする心持ちで参加すると良いのではないのでしょうか。

また、就職活動中の時間は自分について深く考える絶好の機会でもありました。就職活動を通して自分を知ったことは、社会人2年目の今も役立っていますし今後の人生でも役立つものだと確信しています。焦ると就職にのみ目が向いてしまいがちかと思いますが、就職だけではなく今後の人生を見据えて自己理解を深めることが大切であろうと考えております。

これから就職活動をする、もしくは現在している後輩の皆さんが就職活動の機会を最大限活用できること、最終的には大学卒業後について納得のいく選択ができることを心から祈っております。

# 2023年度進路状況 ～キャリアセンターより～

商学部の卒業生は408企業・団体で活躍！

## 2023年度の進路状況について

早稲田大学学部全体の進路報告者 8,391人の進路は、就職 5,903人 (70.4%)、進学 1,822人 (21.7%)、資格試験受験 188人 (2.2%)、その他 478人 (5.7%) でした。

商学部の進路報告者 842人の進路は、就職 739人 (87.8%)、進学 46人 (5.5%)、資格試験受験 24人 (2.8%)、その他 33人 (3.9%) となっています。

就職先の企業・団体は 408件となり、業種別では金融が最も多く 23.4%、以下、専門サービス 19.8%、情報通信 19.7%、メーカー 14.7%、商業 5.9% の順となっています。

主な就職先は★表2に示したとおりです

## キャリアセンターについて

キャリアセンターでは就職支援をはじめ、全学年の学生を対象とした「みらい設計」支援を行っています。大学での過ごし方や将来の進路を考えるイベントやセミナーも開催しています。詳細はキャリアセンターホームページをご覧ください。

<https://www.waseda.jp/inst/career/>



キャリアセンター (学生会館3階)

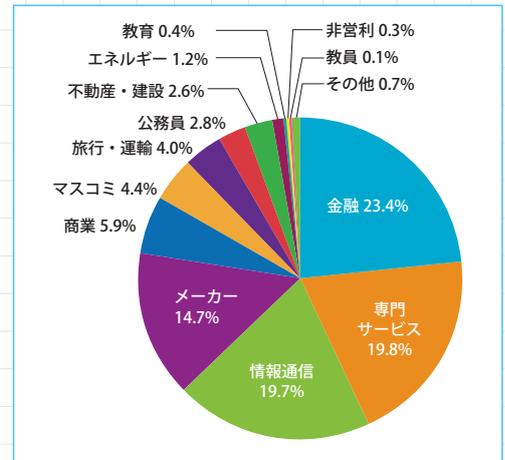


Cスペース/キャリアセンター分室 (早稲田キャンパス6号館1階)

★表1 2023年度商学部卒業生の進路状況

進路報告者	842
就職	739 (87.8%)
進学	46 (5.5%)
資格試験	24 (2.9%)
その他	33 (3.9%)

★図1 2023年度 商学部就職先業種別割合



★表2 2023年度 商学部就職先(3人以上)

企業・団体名	合計(人)	男(人)	女(人)
(株)ベイカレント・コンサルティング	17	17	0
EY新日本有限責任監査法人	14	9	5
東京海上日動火災保険(株)	13	4	9
(株)NTTデータグループ	13	5	8
明治安田生命保険(相)	12	8	4
(株)みずほフィナンシャルグループ	11	7	4
大和証券(株)	10	8	2
日本電気(NEC)(株)	9	4	5
三菱UFJ信託銀行(株)	9	5	4
有限責任あずさ監査法人	9	3	6
(株)三菱UFJ銀行	8	7	1
(株)三井住友銀行	7	4	3
SMBC日興証券(株)	7	5	2
ソフトバンク(株)	7	2	5
テロイト・トーマツコンサルティング(同)	7	5	2
PwC Japan有限責任監査法人	7	4	3
日本アイ・ビー・エム(日本IBM)(株)	6	1	5
りそなグループ	6	4	2
三井住友信託銀行(株)	6	5	1
野村證券(株)	6	6	0
アクセンチュア(株)	6	4	2
アビコムコンサルティング(株)	6	3	3
EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)	6	3	3
富士通(株)	5	3	2
(株)日立製作所	5	2	3
(株)リクルート	5	5	0
東京都職員I類	5	4	1
富士フイルム(株)	4	3	1
(株)商工組合中央金庫	4	4	0

企業・団体名	合計(人)	男(人)	女(人)
オリックス(株)	4	3	1
(株)ジェシービー(JCB)	4	3	1
みずほ証券(株)	4	3	1
日本航空(株)	4	1	3
(株)NTTドコモ	4	2	2
(株)電通デジタル	4	3	1
楽天グループ(株)	4	3	1
PwCコンサルティング(同)	4	4	0
有限責任監査法人トーマツ	4	1	3
(株)野村総合研究所	4	1	3
国家公務員一般職	4	3	1
日産自動車(株)	3	2	1
住友商事(株)	3	2	1
三井物産(株)	3	1	2
日本生命保険(相)	3	1	2
三井住友海上火災保険(株)	3	2	1
損害保険ジャパン(株)	3	2	1
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	3	1	2
東日本旅客鉄道(JR東日本)(株)	3	2	1
日本通運(株)	3	0	3
日本放送協会(NHK)	3	1	2
(株)バンダイナムコエンターテインメント	3	3	0
TIS(株)	3	3	0
(株)インテージ	3	2	1
日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)	3	2	1
パーソルキャリア(株)	3	1	2
SCSK(株)	3	1	2
(株)オリエンタルランド	3	2	1
(株)ビズリーチ	3	3	0

キャリアセンター調べ (2024年6月1日現在)

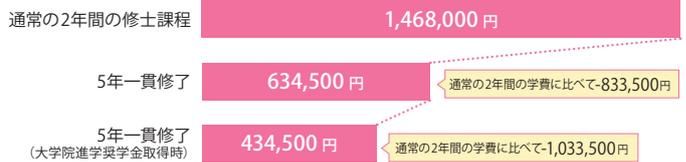
## 商学研究科 商学部を卒業後に推薦入学で商学研究科に進学し、学部4年間+1年間の最短5年で修士学位を取得

### 5年一貫修了制度のメリット

- ◆学部4年に「+1年間」で修士学位を取得できる
- ◆「留学」=「延長生(5年生)」ではなく、「留学+修士学位」で5年間の学生生活を送れる
- ◆学部からの継続指導で、研究成果を修士論文に結実させることができる
- ◆1年間の在学中、大学院における学費が半額で済む
- ◆推薦入学者向け奨学金受給のチャンスがある
- ◆就職活動において、「早期修了」の商学系大学院出身者としてアピールできる

### 学費シミュレーション

※2024年度入学者の場合



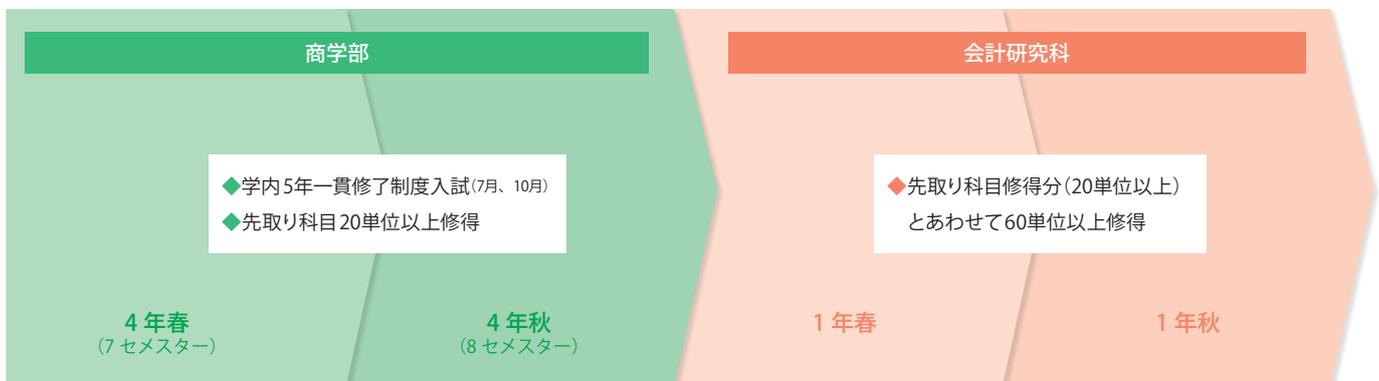
### 5年一貫修了制度適用者になるためには

	基準
学部在学中の成績	6セメスター終了時点で、GPA2.60以上(上位25%相当) または、4セメスター終了時点でGPA2.70以上(上位20%相当)であり、5セメスター以降に2セメスター以上の留学を予定する者(休学しての留学を除く)
大学院科目先取り履修	7セメスター以降に、大学院科目を先取り履修し10単位以上を修得すること ※本制度適用者は、大学院入学後16単位まで単位認定可能 ※学部在学中は自由科目扱い
推薦入試	推薦入試合格者 ※出願時に、指導教員承認済みの「早期修了希望届」を提出

### 大学院進学後の条件

- ①1セメスター終了時点で修了要件単位数22単位以上修得済であること
- ②2セメスター終了時点で修了要件単位数32単位以上修得し、かつ各科目区分の修了要件を満たしていること
- ③修士論文評価がA+またはAであること

## 会計研究科 商学部を卒業後に、「学内5年一貫修了制度入試」で会計研究科に進学し、学部4年間+修士1年間



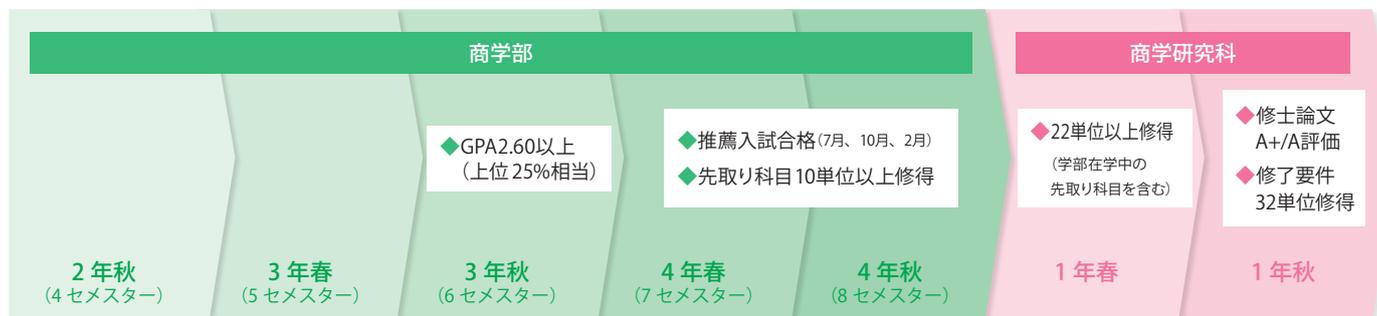
会計研究科の「学内5年一貫修了制度入試」は、商学部4年生のときに、当研究科が学部生に開放する科目(先取り科目)を20単位以上修得し、当研究科1年次において修得した単位と合わせて合計60単位以上を修得することにより、当研究科を早期修了する制度です。

できる制度です。

## モデルケース (4月入学者のパターン)

出願にあたっては、ゼミ所属有無により出願時期等の条件が異なります。

### 一般モデル



### 留学モデル



\*留学から帰国後、単位認定結果が6セメスター終了時点のGPA基準 (GPA2.60以上 (上位25%相当)) を満たしている場合も適用対象となります。

## 奨学金制度

### ■入学前：[推薦入学] 奨学金

推薦入試によって商学部から商学研究科に内部進学する学生を対象とした、給付型の単年度奨学金が2種類あります(学部在学中のみ申請・受給が可能です)。

奨学金名	選考基準	奨学金額	採用数
寺尾巖奨学金	推薦入試最優秀合格者	(年額)30万円(単年度)	1名
商学部寄附講座 大学院進学奨学金	成績等により判断 (推薦入試合格者)	(年額)20万円(単年度)	25名

の最短5年間で、修士学位を取得できる制度です。

## 学内5年一貫修了制度入試(7月、10月) 出願資格

	基準
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2024年度中に商学部を卒業見込の4年生</li> <li>● 出願時において、110単位以上を修得し、70単位以上が「A」以上</li> <li>● 先取り科目を、4年生で20単位以上修得予定</li> </ul>
会計専門コース	以下の①から④のいずれかを満たしていること ①公認会計士試験短答式試験に合格している者 ②税理士試験のうち1科目以上、科目合格している者 ③日商簿記検定試験1級に合格している者 ④会計学、商法、租税法、経済学(ミクロ経済学とマクロ経済学)に関する科目につき、24単位以上が「A」以上
アクチュアリー専門コース	数学、統計学、数理経済学等の数理に関する科目につき、24単位以上が「A」以上

## 5年一貫修了制度のメリット

- ◆ 学部4年に「+1年間」で「会計修士(専門職):MBA」の学位を取得できる
- ◆ 1年間の在学で、大学院における学費が半額で済む
- ◆ 所定の単位を修得して修了した場合には、公認会計士短答式試験3科目が免除される

### 留意事項

以下の場合、当研究科に2年以上在籍し、かつ60単位以上を修得することによって当研究科を修了することができます。

- ①入試合格後、学部在籍中に当研究科の先取り科目を20単位以上修得できなかった場合
- ②先取り科目による単位と当研究科1年次において修得した単位の合計が60単位に満たない場合

## 商学研究科入試案内

### ■入試について

商学研究科修士課程の入試は一般入試と、推薦入試(商学部生対象・他学部生対象)、特別推薦入試に区分されています(表1)。

進学を希望される方は、入試要項で詳細を確認の上出願してください。入試要項は、商学研究科ウェブサイトよりダウンロードできます。

(<http://www.waseda.jp/fcom/gsc/>)

### ■商学研究科修士課程について

商学研究科修士課程には、図1のとおり、3コース、6専修があります。修士課程の在学期間は通常2年間で、所定の単位を取得し、所定の研究指導を受けた上で修士論文の審査および最終試験に合格すると、修士学位(修士(商学)/ Master of Arts in Commerce)が授与されます。また、商学研究科では、早稲田大学全体の留学プログラムとは別に、商学研究科独自の協定を締結し、海外のトップクラスのビジネススクール等への留学を支援しています。このプログラムを利用すると、修了時期を遅らせることなく、「在学」の扱いで留学することができます。

修了後は進学、就職等(表3)に分かれますが、本研究科で得た知識を活かし、多くの修了生が多岐にわたる分野で活躍しています。

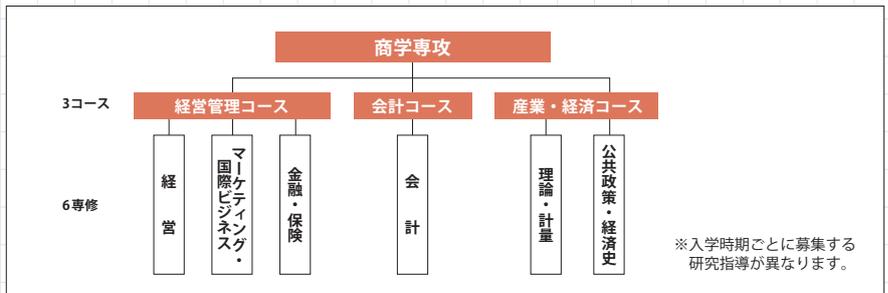
### ★表1 入試制度

入試区分	対象
推薦(商学部生対象)	早稲田大学商学部にて在学中で、商学研究科入学までに卒業が可能であり、出願時の商学部における通算学業成績(GPA)が2.50以上の者
特別推薦(商学部卒業生対象)	早稲田大学商学部にて2010年度以降に入学し、出願時点で卒業後5年以内かつ卒業時点の通算学業成績(GPA)が2.50以上である者。
一般	大学を卒業した者 外国において16年の学校教育を修了した者 など

### ★表2 入試日程(2025年4月/9月入学)

	入試区分	出願期間	一次選考(専門科目)	二次選考(口述試験)	最終合格者発表
Ⅱ期	推薦	2024.6.28~2024.7.5	なし	2024.10.5	2024.10.10
	特別推薦				
	一般		2024.9.22		
Ⅲ期	推薦	2024.11.8~2024.11.15	なし	2025.2.1	2025.2.6
	特別推薦				
	一般		2025.1.19		

### ★図1 研究指導(修士課程)



### ★表3 就職状況

	主な就職先
学術研究、専門・技術サービス業	アクセンチュア株式会社、EY新日本有限責任監査法人、デロイトトーマツコンサルティング、株式会社野村総合研究所
メーカー	シャープ株式会社、ソニー株式会社、株式会社日立製作所、富士通株式会社
金融・保険業	野村證券株式会社、三井住友海上火災保険株式会社
その他	Bloomberg Inc.、日本郵船株式会社

## 商学部生の内部進学について

### ■早期修了制度(学部・修士5年一貫修了制度): 推薦入学者のみ対象

一定の条件をクリアした希望者は、【1年間の在学中で修士学位が取得】できます。詳細につきましては特集ページをご覧ください。

### ■先取り履修制度: 早稲田大学商学部4年生以上のみ対象

商学研究科修士課程の研究基礎科目群や専門科目群の一部科目を、商学部4年生以上を対象に先取りで履修できる制度を設けています。取得した単位については、修士課程に進学した後に修了要件算入単位として申請可能です。

### ■推薦入試出願サポート

推薦入試の出願には教員の推薦書が必要です。「ゼミに所属していない」「専門とする分野を変えたい」など、推薦書のことでお困りの方は、お気軽に商学研究科事務所までご相談ください。

※出願にあたってはゼミの所属有無により、出願の時期等条件が異なりますのでご注意ください(詳細は商学研究科Webページをご参照ください)。

### ■推薦入学奨学金

推薦入試によって、商学部から進学する学生を対象とした給付型奨学金です。学部在学中に支給されます。

●寺尾巖奨学金(支給額: 年額30万円/1名) ●商学部寄附講座大学院進学奨学金(支給額: 年額20万円/25名)

# 大学院商学研究科への進学

## 私の院生生活 1 (博士後期課程)

### 大学院に進学したきっかけ

私は将来、専門性の高い仕事をしたと考えており、そのために自分の専門性を磨くべく、大学院商学研究科に進学しました。進学を意識し始めたのは、学部3年生の頃です。同級生が就活に向けて本格的に動き始め、友人と将来の話をする機会が増えたなかで、今後を見据えて専門性を磨く必要性を感じました。そのようななか、企業が抱える課題に対してチームでビジネスプランを立案する授業において、企業の課題を発見したり、ビジネスプランを立案・評価したりする際の尺度として会計知識の重要性を感じ、会計学への関心が高まりました。そこで、独学で勉強してみたところ、様々な事象を数値で表現できるところに魅力を感じました。そして、会計学をより専門的に学ぶために大学院への進学を決意し、会計学のゼミのなかでも財務報告を専門とする山内ゼミを志望しました。

### 大学院での生活

商学研究科では、自分の専門に関わらず、商学およびその関連領域における様々な分野の授業を受講することができます。学部と比較して少人数の授業が多いため、国内外で活躍されている先生方に質問したり、アドバイスをいただいたりしやすい環境も整っています。加えて、学生には留学生や社会人も多く、多様なバックグラウンドを持つ人々との交流から刺激を受けることも多いです。

私自身、文献や自分の考えをまとめ、人前で発表を行う機会も増えたため、論理的思考力や発信力が鍛えられていることを実感しています。また、授業TAとして学部や大学院の授業のお手伝いをさせていただく機会もあり、大学の授業を多面的に体験することができることも魅力に感じています。

ゼミにおいては、修士論文の執筆を通して、会計学の知識のみならず、文献の探し方や学術的な文章の書き方といった学術研究の基礎も丁寧に教えていただき、一通り身につけることができました。そして、博士後期課程に進学した現在は、商学研究科の学生研究発表会での発表や論文投稿に向けた準備を進めています。博士後期課程においても引き続き、修士



■商学研究科  
博士後期課程1年  
坂口 舞香

課程で扱ったテーマである人的資本をより深く多面的に探究するとともに、自立的に研究できる能力を身につけていきたいと考えています。

### 大学院進学を検討している方へ

日本における大学院進学率は未だ低く、特に文系学生にとって身近な選択肢とはいえないのが現状だと思います。私自身、大学院への進学を検討した際、周囲に志望分野の大学院生や進学希望者がほとんどおらず、就活に比べて入手できる情報も圧倒的に少なく実態が掴めなかったため、不安が大きかったです。しかし、修士課程を修了した現在は、商学研究科に進学したことを非常に満足しています。修士課程の2年間で、進学しなかったらできなかった貴重な経験ができ、視野も広がったと感じているためです。大学院商学研究科への進学を検討されている皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

## 私の院生生活 2 (修士課程)

### 大学院に進学したきっかけ

私が大学院への進学を決意したのは、学部3年次の交換留学でした。従来から、海外では文理問わず修士卒がメジャーな選択肢であると聞いていたものの、日本国内ではイメージしづらく、当初は学部卒業後に就職すると考えておりました。

しかし、留学先で出会った学生らは、大学院進学を視野に入れている方が想像以上に多く、非常に印象に残った記憶があります。聞くとその背景は、学生時代に学問の専門性を積むことを重視していることから、その一歩として大学院進学が当然の手段として考えられていたためでした。

私も当時から、将来は専門性を軸にグローバルなキャリアを歩きたいと考えていたため、この経験から、商学知識をより深めたいと思い、大学院進学を決意に至った次第です。

加えて、五年一貫修了制度も、大学院進学を決意できた大きな要因でした。

### 5年一貫修了制度について

5年一貫修了制度とは、所定の要件を満たすことで、大学生活5年間で修士号までの学位を取得する商学部生向けの制度です。

通常の過程よりも1年早く修了出来る制度となっているものの、実際には大学4年次から研究科の授業を先取り履修するため、学びの量をそのままに、より短い期間で濃密に商学の知識を身に着けることができます。そのため、就職を希望する場合でも、1年間だけ大学院で多く学ぶことで、より深い知識を身に着けた状態でキャリアスタートさせられる点が、非常に魅力的に感じました。

### 大学院での生活

同じ早稲田大学にいても、大学院の生活は学部時と大きく異なっており、多くの新たな刺激に出会うことができます。

大学院での学びは、より専門的であることはもちろん、少人数形式の授業がほとんどであるため、教授との距離が近く、研究論文を基に議論を進めていながら学べる環境があります。プレゼンや発言の機会も多くあり、常に自分なりの解釈をし意見を持つ必要があることから、思考力を養うことも可能です。



■商学研究科  
修士課程1年  
詹 合翔

研究活動においては、授業で得られた知識をアウトプットすることができます。これまで学んだ既存研究での理論や手法を基に、自身の興味テーマに落とし込みながら新規性のある仮説を構築し、それを検証するプロセスを組んでいくことができます。その過程において、教授やゼミの先輩方から最先端の研究分野や手法について教わることも可能です。

大学院での生活を振り返ると、学生時代で最も充実した期間でした。周りの友人らが学部で卒業していく中、進学をすることは大きな一歩を必要とするかもしれませんが、私はその一歩としての選択が自身の価値観の変化に大きく影響し、非常に良かったと感じています。

ご自身に合った最適な選択をするために、少しでも興味を持った方は、ぜひ指導教授や事務所の方々に相談をしてみてください。

## 会計研究科入学案内

### ■会計研究科について

会計研究科は、会計、アクチュアリーのプロフェッショナルを養成するための専門職大学院で、「会計専門コース」、「アクチュアリー専門コース」と「高度専門コース」の3つのコースがあります。会計専門コース、アクチュアリー専門コースは2年制で所定の60単位を修得することで修了となります。高度専門コースは1年制で所定の48単位を修得し、専門職学位論文を提出し、合格した者が修了することとなります。いずれも「会計修士(専門職)」、Master of Business Administration」の学位が授与されます。

デジタル化やグローバル化が進むビジネスの世界では、会計やアクチュアリーといった、自らのコアを持つことにとどまらず、「+1(プラスワン)」の強みを持つことが付加価値を高めます(図1)。当研究科の幅広い「文理融合」のカリキュラムのもとで、皆さんの「会計+1」や「アクチュアリー+1」をみつけてください。

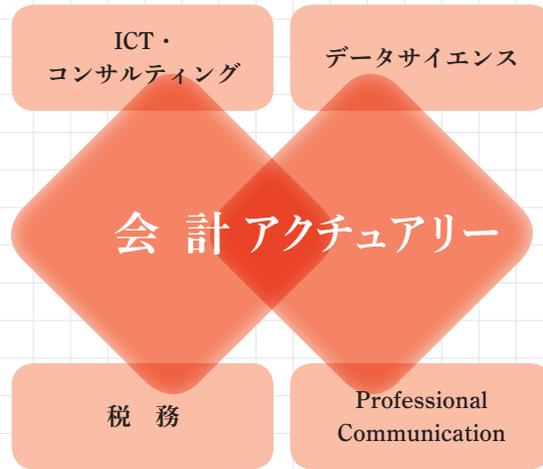
「プラス1」とともに、大手コンサルティング企業・監査法人等からの提携講座(2024年度13講座、図2参照)など、カリキュラムを進化させて続けています。

学部で学んだことをより高め、グローバルビジネスで戦う武器を会計研究科で身につけてください。

### ■入試について

会計研究科の入試は、それぞれのコースの一般入試に加え、特色ある入試があります(表1)。商学部生の皆さんは、一般入試をはじめ、学内推薦入試、学内AO入試、学内5年一貫修了制度入試等が対象となります。入試日程等は会計研究科入試要項をご参照ください(会計研究科WebサイトでもPDFで参照できます)。また、個別相談会を含む入試説明会を定期的に実施しており、入試説明会では入試、カリキュラムについての他、模擬講義や在校生または修了生講演を行うこともあります。個別相談会では教員、在校生、修了生が皆さんからの質問を個別にお受けし、会計研究科への進学を検討するにあたり様々な相談につきまして親身に応じることを心掛けております。どうぞご利用ください。日程は会計研究科Webサイトでご確認ください。

★図1 付加価値を高める+1(プラスワン)



★図2 大手コンサルティング企業・監査法人等による提携講座

1 CFO組織の未来像 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社	2 事業再生実務 株式会社 KPMG FAS	3 経理部門における 内部統制とガバナンス実務 ジャパン・ビジネス・ アシュアランス株式会社
4 生命保険の理論と経営 公益財団法人 アジア生命保険振興センター	5 CRM実務 デロイト トーマツ コンサルティング合同会社	6 事業承継コンサルティング 入門・実践 株式会社野村資産承継研究所
7 グローバル企業への タックスコンサルティング EY税理士法人	8 金融機関のガバナンス・ リスク管理・コンプライアンス EY新日本有限責任監査法人	9 グローバル会計入門 PwC Japan有限責任監査法人
10 会計・監査の最新実務 有限責任 あずさ監査法人	11 IPO実務 太陽有限責任監査法人	12 ESG・サステナビリティ 開示入門 Mazars有限責任監査法人
13 インターネット生命保険の 理論と実践 ライフネット生命株式会社		

★表1 入試概要

	一般入試	特色ある 入試	学内推薦 入試	学内AO 入試	学内5年一貫 修了制度入試
会計専門コース/ アクチュアリー 専門コース	筆記・ 口述	英語力重視* IT能力重視* 等	口述試験	口述試験	口述試験
高度専門コース	口述試験				

※会計専門コースのみ

### 商学部生の内部進学について

#### ■学部・会計研究科5年一貫修了制度：学内5年一貫修了制度入試のみ対象

一定の条件をクリアした希望者については【1年間の在学中で修士学位が得られる】ようになりました。

#### ■先取り履修制度：商学部4年生以上のみ対象

会計研究科の基礎科目など一部科目を、商学部4年生以上を対象に先取りで履修できる制度を設けています。修得した単位については、会計研究科に進学した後に修了要件算入単位として申請可能となります。

#### ■入学前予約採用給付奨学金

会計研究科が指定する入試形態における合格者のうち、入試成績優秀等である方を対象とした給付型(返還の必要のない)奨学金です。奨学金の採用結果は入試の合格発表と共に通知し、入学後に奨学金が支給されます。

# 大学院会計研究科への進学

## 私の院生生活 1 (専門職学位課程)

### 会計研究科へ進学を決めた理由

私が会計研究科を知ったきっかけは、会計研究科のパンフレットでした。学部4年次の論文式試験が不合格だったこともあり、会計士試験を諦めて就職をするのか、諦めずに学習を続けるのかと自身の進路について悩んでいた頃でした。また、コロナ禍で大学4年間のほとんどを過ごしてきた私にとって、様々な人と直接出会い、学びたいという気持ちもありました。そんな私にとって、会計士試験の合格に必要な知識だけでなく、最新の実務を学ぶことのできる会計研究科は非常に魅力あるものと感じました。その後、説明会に参加し話を聞くうちに、会計研究科の掲げる「会計+1」というコンセプトに魅力を感じ、卒業までの2年間で自らの「会計+1」を身に付けたいと考えるようになりました。

「会計+1」とは、会計の知識にとどまらず税務やICT・コンサルティング、データサイエンス、ビジネス英語など他の分野についても自身の

強みを持ち、会計士としての活躍のフィールドを広げようというものです。近年では、グローバル化やデジタル化が急速に進行し、会計専門家として求められる知識や能力はより専門性が高く、複雑なものへと変化しています。こうした社会的需要の変化の中で、会計専門家として他と差別化を図り自らの価値を高めるためには、会計以外の専門領域に強みを持つことが重要になると考え、会計研究科への進学を決めました。

### 会計研究科の特徴

会計研究科の特徴として、多種多様な授業が挙げられます。講師として監査法人・税理士法人やコンサルティング企業の第一線で活躍するプロフェッショナルを迎え、会計や監査の実務のみならず、事業承継コンサルティングやタックスコンサルティング、ESG・サステナビリティ開示といった幅広い提携講座が提供されており、受講者は最新の実務に触れることができます。テーマ研究科目では自らが選択したテーマについて文献サーベイ、ヒアリング及び統計分析などを行い、指導教員のもとで「テーマ研究論文」を作成し、興味ある分野への理解をより深めることができます。

## ■ 会計研究科 会計専門コース1年 多田 悠希

また、会計士の試験勉強に専念できる環境が整えられていることも会計研究科の特徴の一つです。試験対策のために講義を一時的に欠席することが可能な「特別授業期間」や院生専用の自習室、個人ロッカーにより、他にはない環境で試験勉強に集中することができます。

### 進学を検討している方へ

会計研究科では、会計士試験合格のために必要な知識に加えて、合格後に会計士として活躍していく土台となる能力や知識を身に付けることができます。商学部にも所属する皆さんは、学内推薦入試や学内AO入試の利用が可能であるため、より身近で有利な選択肢であると言えます。会計研究科に興味がある人はもちろんのこと、将来の進路に悩んでいる人も、一度説明会へと足を運んでみてください。過去の私のように新たな可能性が見えるはずで、皆さんが自分に合った進路を選択できることを心からお祈り申し上げます。

## 私の院生生活 2 (専門職学位課程)

### 会計研究科へ進学を決めた理由

私が会計研究科(会計研)への進学を決めた理由は、「会計+1」のコンセプトに魅力を感じたからです。会計+1とは、会計の専門知識に加えて会計に隣接する他の領域(税務や英語、データサイエンス、ICT・コンサルティング等)についても得意分野を持ち、強みにしていこうというものです。会計研では、これらを実現するための講義が多数用意されています。

学部在学中に公認会計士試験の合格が叶わず、大学院の間は就活に専念しようと考えていた私にとって、学部時代に得た会計の知識と新たなスキルを掛け合わせて選択肢を広げることができるという点で、会計研のコンセプトは大変魅力的でした。そして、入学後に受けた授業は実際にこれらの期待を満ちし、想像以上に自分の可能性を広げてくれたと感じています。

### 会計研究科で得たもの

私が会計研で得た中で特に価値が高かった

と感じているのは、人々との出会いと多様なチャンスです。

まず、人々との出会いという点では、各界の第一線で活躍されていた先生方が沢山いらっしゃいますし、学生の中にも社会人経験のある方や留学生の方など様々なバックグラウンドを持った方がいます。このような先生方や学生と交流し、時にはディスカッションなど双方向的なコミュニケーションを取りながら学びを深めることができる機会は、非常に有意義なものだと日々感じています。

また、チャンスという点でも会計研の生活の中で得たものは大きかったです。例えば、私は元々英語に苦手意識がありました。しかし、会計のトピックについて英語でプレゼンを行うワークショップに参加してみたところ、自分の英語の拙さを再認識するとともに、もっと英語でコミュニケーションを取れるようになりたいという意欲を持つきっかけとなりました。他にも、データサイエンスやシステム等のIT関連の授業では、自分にとって馴染みのなかったITの分野について、会計に絡めて学ぶことで、「会計+IT」の親和性の高さや将来性に気づく良い機会となりました。更に、会計もしくはアクチュアリーといった専門性を活かせるような企業や職種の説明会・インターン等の案



■ 会計研究科  
会計専門コース2年  
村上 怜奈

内といったサポートも手厚いため、就活という意味でもチャンスの多い環境と言えると思います。

### 進学を検討している方へ

私自身、入学して1年以上が経過しましたが、会計の多面性や奥深さに日々触れながら、充実した学生生活を過ごすことができていると感じています。後輩の皆さんにつきましても、会計やアクチュアリー、その周辺領域に少しでも興味があるのであれば、その好奇心を満たしてくれる授業が多数存在していると思います。

特に商学部にも所属する皆さんは、学内推薦入試や学内AO入試が可能であるため、会計研への進学という選択肢を比較的取りやすいと思います。少しでも興味がある方は是非一度説明会に足を運んでみてください。



## ■ 今号の表紙「田中穂積先生銅像」

田中穂積(1867-1944)は、初代商学部長、第4代総長を務めた財政学者である。

長野県生まれ、旧制松本中学に学んだものの、病を得て中退。病気療養中、東京専門学校講義録で独学したのを機に1895年東京専門学校(現早稲田大学)に編入した。卒業後、『東京日日新聞』記者、東京専門学校研究科を経て、1901年から03年まで東京専門学校派遣留学生として米国コロンビア大学に留学。帰国後、04年より早大講師に迎えられ、11年に商科長、20年に初代商学部長となった。1923年には常任理事として高田早苗総長の下で大学経営に尽力、31年より没するまで総長の任にあった。

商学部は、大学商科開設(1904年9月)以来、本年度で創立120周年を迎える。

ここに改めて先人の遺徳を偲ぶものである。

# 商学部報 No.184

2024年6月28日発行

※本誌記事を無断で転載等する事を禁じます。

■発行責任者：横山 将義

■発行・編集：早稲田大学商学部 東京都新宿区西早稲田1-6-1

<https://www.waseda.jp/fcom/soc/>

■デザイン・印刷：(株)エムディーエス 東京都中央区日本橋箱崎町27-9 2階